

14.4

192

14. 4-691

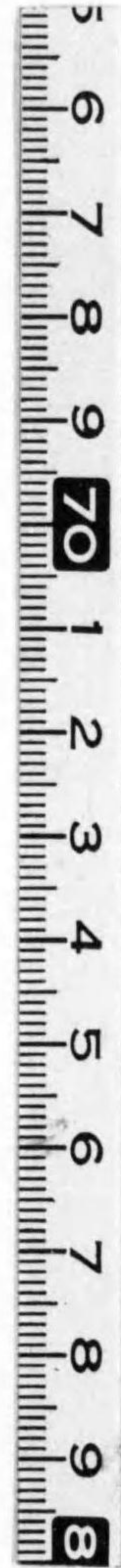


1200501208082

東京市魚市場年報

東京市役所編

昭和八年



始



15
61

昭和九年三月

(代謄寫)

東京市魚市場年報

(昭和八年)

東京市役所

昭和八年

東京市魚市場年報

東京市魚市場 寄贈本

目次

第一章 東京市魚市場

一、沿革	一
二、位置及面積	一
三、設備	一
四、建物種別及軒數	二
五、冷藏庫	二
六、管理	二
七、東京魚市場組合 主要機關	五
イ、問屋	五
ロ、問屋兼仲買	五
ハ、仲買	六
(二) 補助機關	六
イ、小揚及輕子	六
ロ、附屬運送業者	六
ハ、買荷保管所營業者	六

頁

二、附屬商	六
ホ、郵便局	七
ヘ、銀行	七
ト、診療所	七
八、市場開市時間	七
九、販賣方法	七
十、買出人	七
十一、衛生其他	七
イ、汚物處分	七
ロ、場内洗滌	八
ハ、防蠅及消毒	八
ニ、大掃除	八
ホ、防火施設	八
ヘ、交通取締	八
十二、市況日報其他	八

第二章 取引

一、商況一般	八
一月	三



二月	三
三月	四
四月	四
五月	五
六月	六
七月	七
八月	七
九月	八
十月	九
十一月	九
十二月	一〇
二、入荷状況	三
三、入場人員及入車數	三
四、地方出荷状況	三
五、冷蔵庫寄託魚介状況	三
第三章 統計	
一、入場人員及船車數十箇年比較	一六
二、入荷數量十箇年比較	一六
三、陸運入荷地方別十箇年比較	一六
イ、兩 國 驛	一四

口、隅田川驛	一五
ハ、汐留驛	一五
四、海運入荷地方別十箇年比較	一七
五、地方出荷數量九箇年比較	一七
六、冷蔵庫保管數量十箇年比較	一七
七、冷蔵品種類別入出庫數量九箇年比較	一八
八、冷蔵庫附屬製氷事務逐年供給狀況	一八
九、鮮魚介相場十箇年比較	一八
一、近 海 物(其一)	一九
近 海 物(其二)	一九
近 海 物(其三)	一九
近 海 物(其四)	一九
近 海 物(其五)	一九
近 海 物(其六)	一九
二、活 物	二〇
三、關 西 物(其一)	二〇
關 西 物(其二)	二〇
關 西 物(其三)	二〇
四、三 陸 物(其一)	二〇
三 陸 物(其二)	二〇
三 陸 物(其三)	二〇
五、北 海 物(其一)	二〇
北 海 物(其二)	二〇
北 海 物(其三)	二〇
六、冷 凍 魚	二〇

七、川 魚	一四七
十、鹽乾魚(其一)	一五一
鹽 乾 魚(其二)	一五一

附 錄

汚物搬出數量八箇年比較	一五六
府縣別產出魚類品名表	
重要魚類卸賣相場指數表	
東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖	
昭和七八兩年度月別魚荷指數變動比較表	
累年推定平均魚荷變動表	
昭和八年度月別入荷數量及賣上推定高比較表	
魚介類出週期間一覽表	

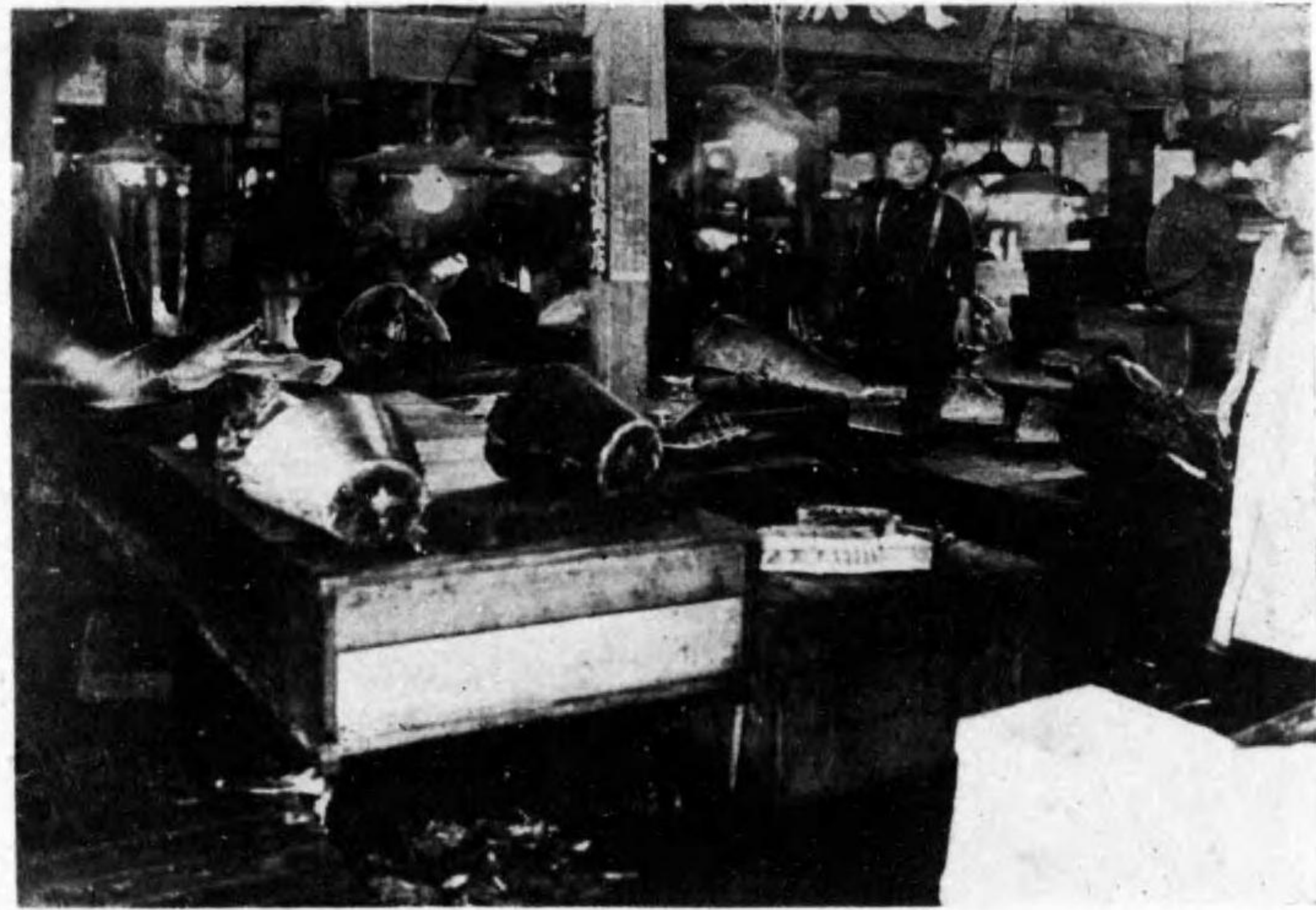
(目次終)



圖瞰俯舖店場市魚市京東



所管保荷買



部 内 舖 店



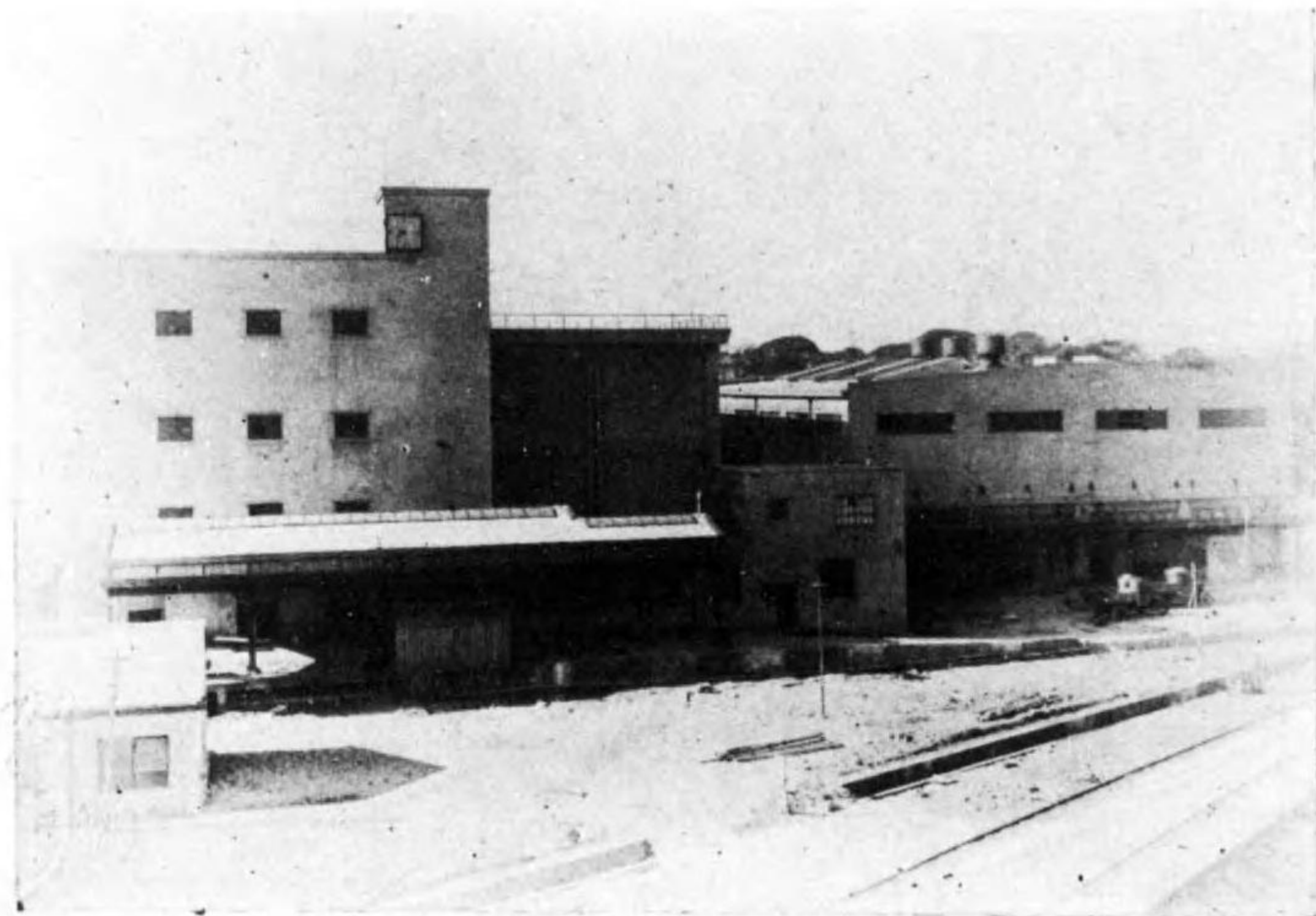
部 内 舖 店



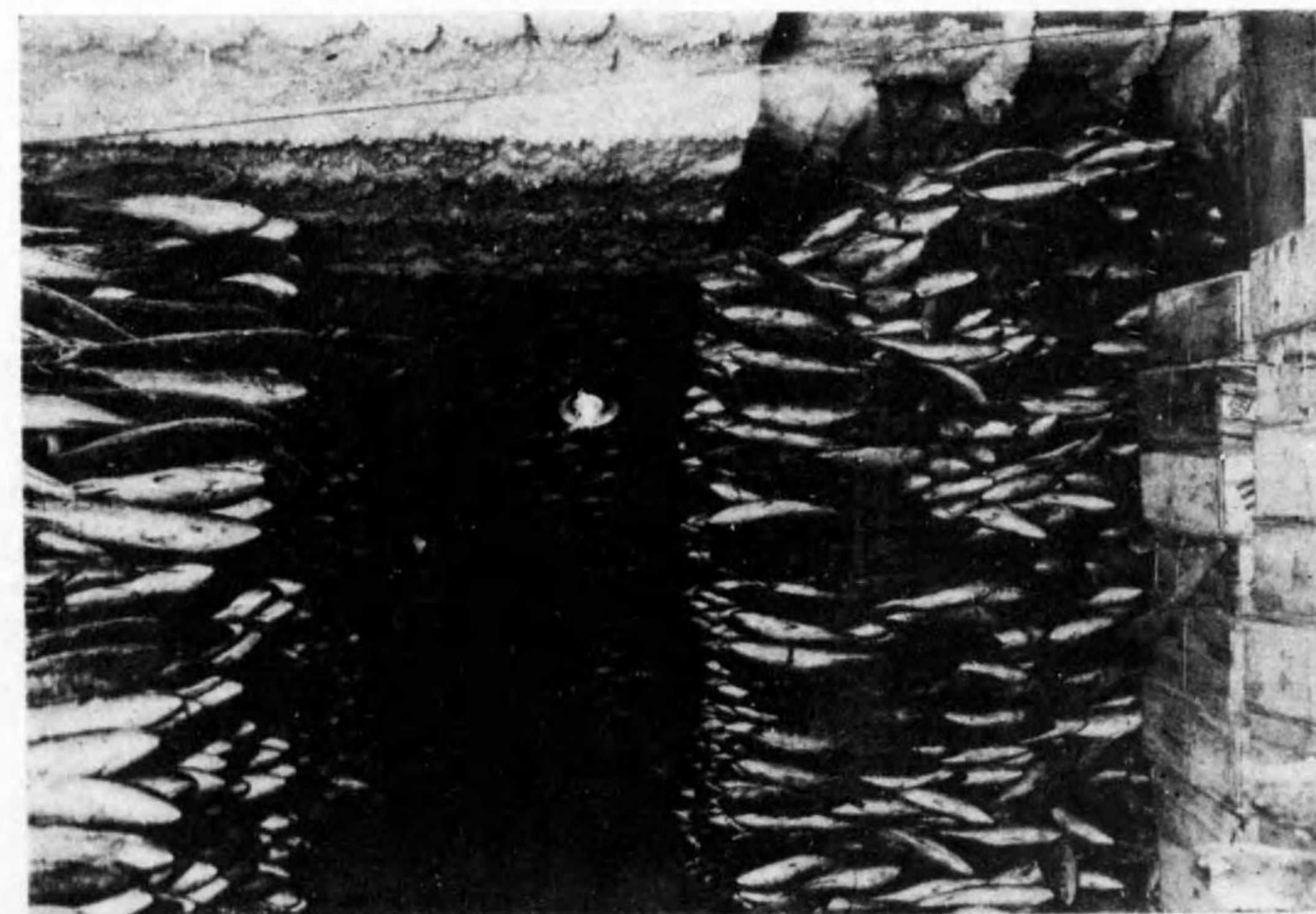
揚 荷 橋 棧



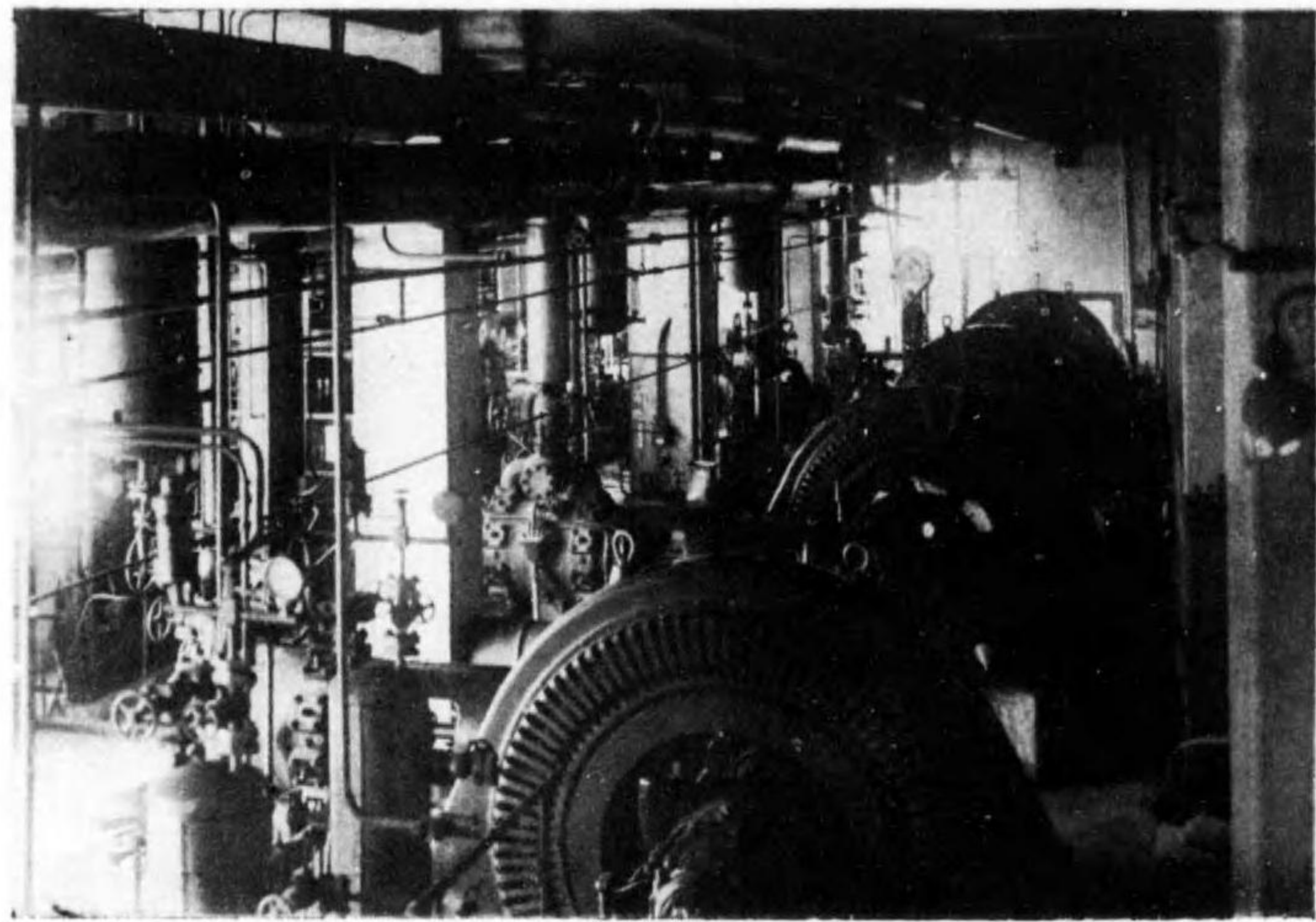
揚 荷 橋 棧



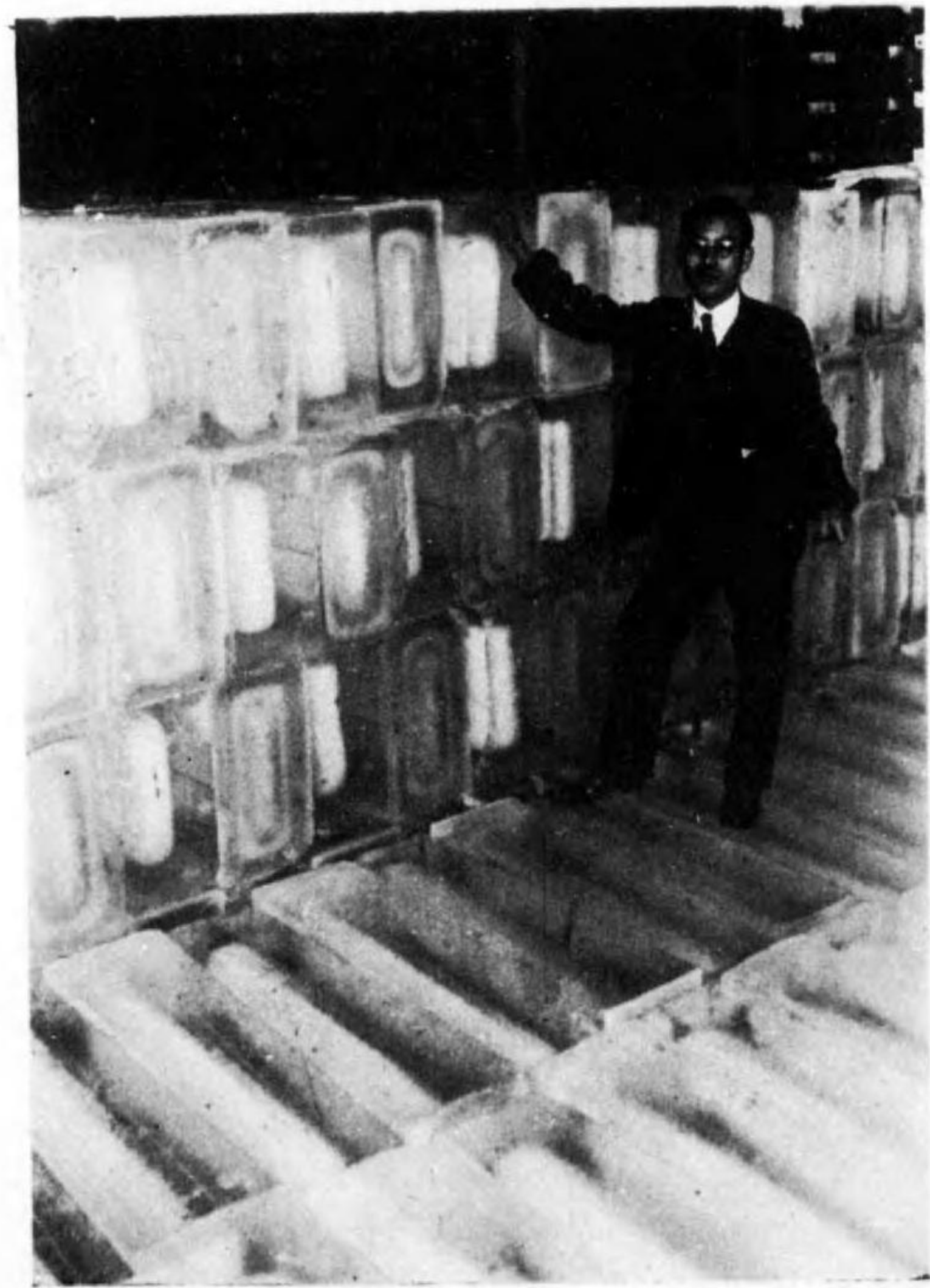
冷 藏 庫 全 景



冷 藏 庫 內 部



機 關 室



貯
氷
室

昭和八年 東京市魚市場年報

第一章 東京市魚市場沿革

江戸三百年の昔より魚河岸なる名稱の下に誇ある日本橋魚市場は、大正十一年九月二日の大震災火災により一朝にして烏有に歸せり。依而同魚市場組合は、芝區芝浦二丁目に約二千坪の敷地を借受け、同年九月十七日より天幕張にて臨時市場を開設せり。後更にバラック店舗七百坪を増築し、不充ながら當時の開業者八、九百名を之に收容し、日々入荷數量二、三百噸内外を取扱ひ入場者又一萬人内外を算せしが、固より其の設備不完全にして、且つ其の位置市の南方に偏在し交通不便なる爲、本市は同組合の請願を考慮し、震災直後の應急施設として海軍省より築地海軍技術研究所用地の一部を借り受け、同年十一月六日に警視廳より食品市場の許可を得、同月三十日バラック店舗を竣成し、日本橋魚市場組合員及同附屬業者全部を此處に收容し、十二月一日開場式を舉行し、翌二日より營業を開始せり。

其の後年を開すること九歳、本市は中央卸賣市場建設の爲敷地をこゝに卜し、海軍省外關係各省と幾多の折衝を重ねると共に、建設資金一千五百萬圓を計上し、舊海軍諸官衙跡五萬九千餘坪を買収するに至れり。こゝに於て本建築用地の關係上、前記魚市場を一時移轉するの止む無きに至り、右買収地區の一部即ち元海軍々醫學校及築地病院跡に一萬二千九百餘坪の地を劃し、昭和五年二月五日工事に着手し七月十日完成、同二十日修葺式を擧げ同二十三日之に移轉し、本市中央卸賣市場開設迄暫定的に營業を開始せるもの即ち現市場之なり。

二、位置及面積

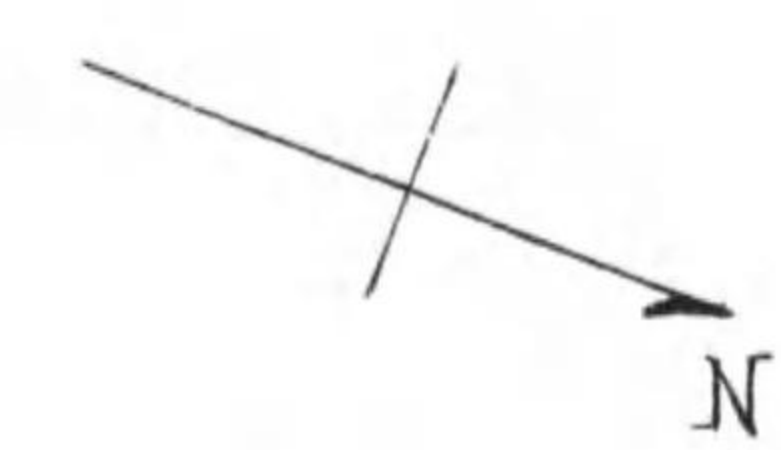
京橋區築地五丁目一番地元海軍々醫學校及築地病院跡にあり。築地川東支川に沿うて隅田川口に臨み、汐留驛より陸路約十丁、隅田川驛より約二里十三丁、兩國驛より水路約一里四丁を距て、其の敷地廣袤一萬二千九百餘坪、水陸の運至便の地なり。

三、設備

舊市場は震災直後適當なる材料乏しき時期に建設せられたる

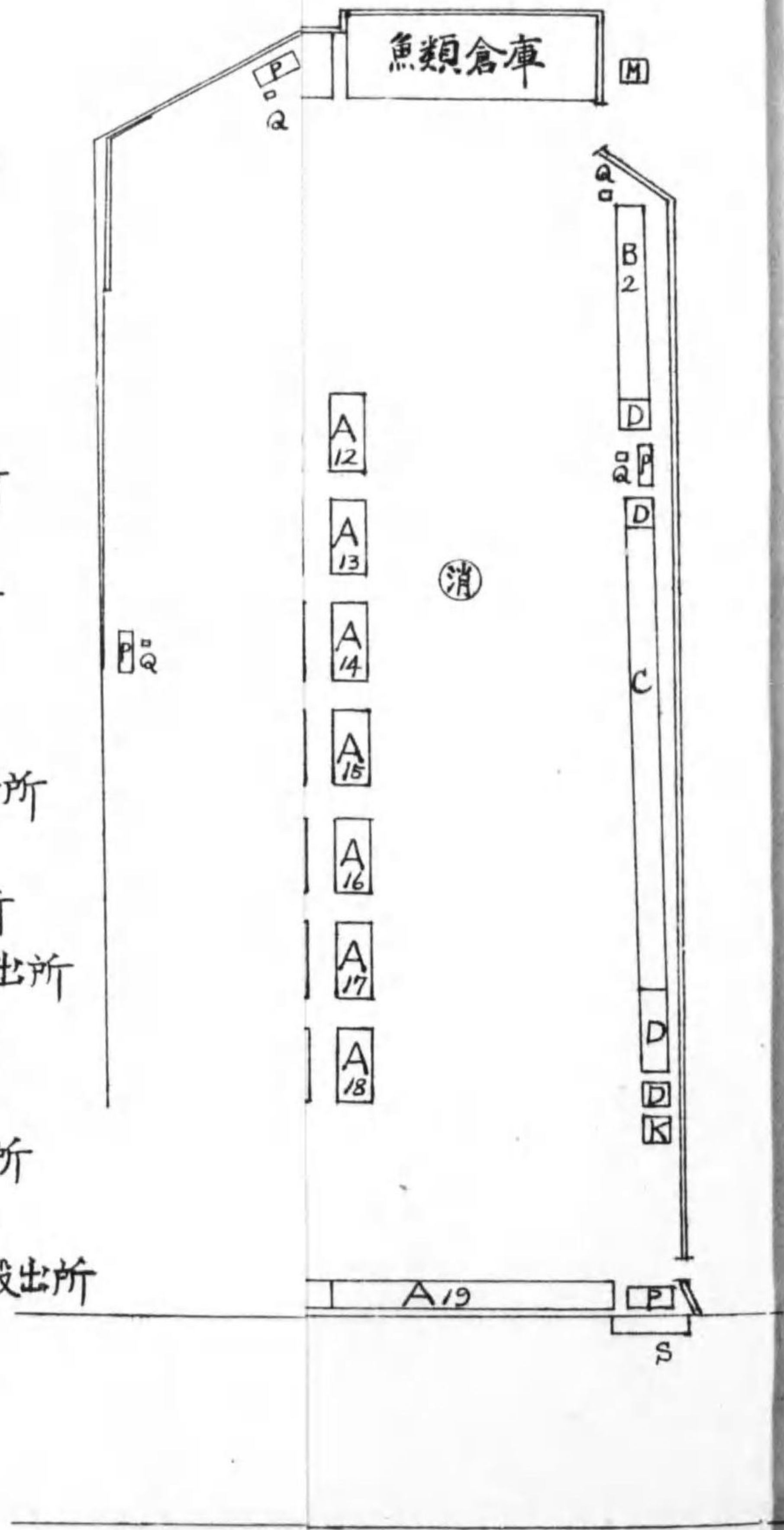
14.4-691

東



(凡例)

- 棟 棟 魚商店舗
- A₁ A₁₉ 買荷保管所
- B₁ B₂ 第一食堂
第二食堂
- C 附屬商店舗
- D 氷販賣所
- E F 組合事務所
- G 銀行其他
- H J K L M N O P Q R S 小揚休憩所
- 倉庫
- 章魚煮場
- 無料買荷保管所
- 塩販賣所
- 守衛見張所
- 請願巡查派出所
- 塵棧橋
- 便所
- たばこ販賣所
- 自動車々庫
- 魚腸骨貝殻搬出所
- 消火栓



四、建物種別及坪數

關係上、建物の構造は總て亜鉛板葺、裏板張の木造バラックたりしが、現市場も亦中央卸賣市場開設迄の暫定的建物なるが故に、之と同様式のものにして、魚商店舗は奥行五間半長さ十五間乃至十七間半を一棟とせるもの三十五棟、之を圍繞して十八棟の買荷保管所あり。之等の建物凡ては葭簾張日覆を廻らし、其の外廓に大通路を距て、附屬商其他の建物、別表配置圖の如く存在す。場内一圓はコンクリート舗装にして、汚水雨水は無蓋の小溝をして店舗際より徑一尺乃至一尺五寸の暗渠に導き、更に此の暗渠により築地川東支川に排出せしむ。衛生施設として三十四ヶ所に水道栓を設置し汚物掃除役は、此の水栓にゴムホースを取付け、市場路面洗滌の用に供し、有事の際は、之と共に他に設備しある三ヶの消火栓と相俟つて、消火の用を兼ねしむ。水運に依る鮮魚の陸揚場としては隅田川沿岸の縦棧橋及築地川東支川に沿ひ、横三五米出幅三、五米のもの二箇所の木造横棧橋を架設す。各店舗には間口三、〇三米毎に水道栓一箇と共に百燭光電燈二乃至四燈を設備し更に屋内通路上に百燭光一燈を設備す。尙荷捌所、棧橋、通路等には警戒と作業の安全とを期し百燭乃至五百燭光の電燈を夫々適所に設備す。

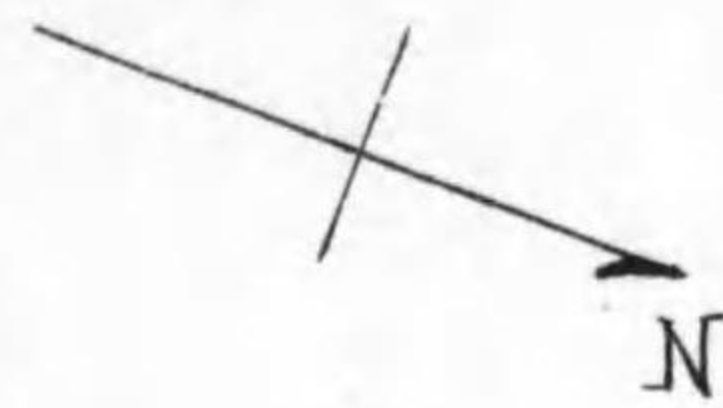
五、冷蔵庫

本冷蔵庫は中央卸賣市場附屬冷蔵庫として建設せられたるもアリ

種別	摘要	坪數
一、魚商店舗	三五棟	二、九七四・五八三
一、買荷保管所	二〇棟	四三二・五〇〇
一、附屬商店舗	二棟	一〇八・〇〇〇
一、飲食店々舗	二棟	一三七・〇〇〇
一、東京魚市場組合事務所	二階建一棟(延)	七五・〇〇〇
一、銀行用建物	二階建一棟(延)	八八・〇〇〇
一、魚類倉庫	一棟	一〇八・〇〇〇
一、氷販賣所	二棟七ヶ所	四四・〇〇〇
一、塩販賣所	一ヶ所	八・〇〇〇
一、材料倉庫	一棟	一五・〇〇〇
一、木炭倉庫	一棟	六・〇〇〇
一、守衛見張所	二棟	三・〇〇〇
一、水陸請願巡查派出所	二棟	五・〇〇〇
一、共同便所	八棟	二八・〇〇〇
一、小揚休憩所同飲事場	一棟	一三・五〇〇
一、自動車々庫	一棟	四・五〇〇
一、煙草販賣所	九ヶ所	三・九九八
一、葭簾張	日除	一、七七九・六一五
外ニ鮪煮場、魚腸骨搬出所、塵芥搬出用棧橋、公衆電話一ヶ所		

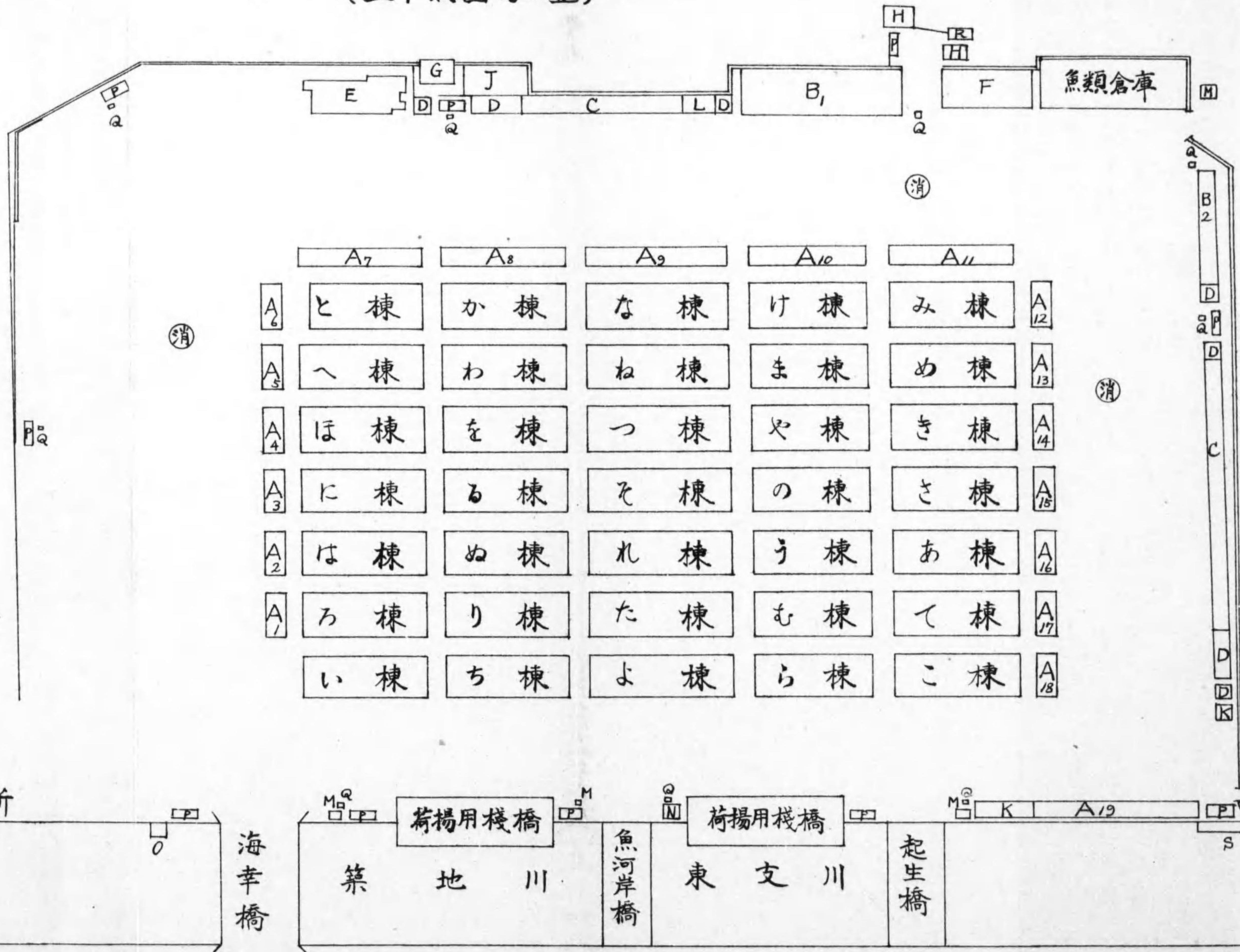
東京市魚市場建物配置圖

(壹千貳百分ノ壹)



(凡例)

- い棟 魚商店舗
- A₁...A₁₉ 買荷保管所
- B₁ B₂ 第一食堂
第二
- C 附屬商店舗
- D 氷販賣所
- E F 組合事務所
- G 銀行其他
- H 小揚休憩所
- I 倉庫
- J K 章魚煮場
- L 無料買荷保管所
- M 塩販賣所
- N 守衛見張所
- O 請願巡查派出所
- P 塵棧橋
- Q 便所
- R たばこ販賣所
- S 自動車庫
- 消 魚腸骨貝殻搬出所
- 消 消火栓



橋及築地川東支川に沿ひ、横三五米出幅三、五米の二階所の木造横棧橋を架設す。各店舗には間口三、〇三米毎に水道栓一箇と共に百燭光電燈二乃至四燈を設備し更に屋内通路上に百燭光一燈を設備す。尙荷捌所、棧橋、通路等には警戒と作業の安全とを期し百燭乃至五百燭光の電燈を夫々適所に設備す。

四、建物種別及坪數

一、煙草販賣所 九ヶ所
 一、葎 葎 日除 一、七七九・六一五
 外ニ銷煮場、魚腸骨搬出所、塵芥搬出用棧橋、公衆電話一ヶ所アリ

五、冷蔵庫

本冷蔵庫は中央卸賣市場附屬冷蔵庫として建設せられたるも

のにして、其の目的は魚類、蔬菜、果實、獸肉、鳥卵等生鮮食料品の冷蔵保管及冷凍並製氷を行ひ之を市場に供給するにあり、昭和五年十二月十八日起工越えて昭和七年五月二十八日竣

工し、爾來東京市設冷蔵庫使用條例に基き業務を開始しつゝ、之を從來の東京市魚市場附屬冷蔵庫と比較し其の概況を示せば次の如し。

比較	建物様式	坪(延)	冷蔵室	製氷室	貯氷室	アムモニア壓縮機
新冷蔵庫	鐵筋、鐵骨コンクリート 二階及三階建	一、六七四	ブライオン循環式 六一八室 六一一坪	一〇〇製氷水 サブマージド ライオンクーラー 二式二槽 二五一坪	冷蔵設備 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一五五坪	神戸製鋼横置復動型 直結式一〇〇噸四臺 同期電動機二二〇馬力四臺
舊冷蔵庫	木造平家 一部二階建	二六二	アムモニア直接 膨脹式 一二室八〇坪	一〇〇製氷水 ビット ウインコイル式 三二坪	一二〇 二〇 二〇坪	ビルター横置復動型調帯掛二 〇噸、一〇噸各一臺誘導電動 機七五及四〇馬力各一臺

但し新冷蔵庫には「アムモニア」直接膨脹式冷凍室及試験室と之に要する壓縮機(神戸製鋼直立單動二氣密閉型直結式四四噸、誘導電動機九〇馬力)並附帯設備を有す。

建物構造は、近代式鐵骨及鐵筋混凝土三階建にして、冷蔵室の絶縁には外壁に六吋内壁に四吋の壓縮炭化「コルク」板を使用し左の各室に分たる。

冷蔵室	(二階五室、二階六室、三階七室)	六一一坪	貯氷庫	(一階三室)	一五五坪
冷凍室	(二階一室)	一七坪	貯氷庫準備室	(一階三室)	四三坪
試験室	(二階一室、三階一室)	一四坪	機關室		一四一坪
冷蔵庫準備室	(二階一室、二階二室、三階二室)	一三九坪	上屋		一〇四坪
製氷室	(二階)	二五一坪	事務室		五五坪
			其他		一四四坪
			内部設備は冷蔵製氷致之に附隨する諸装置より成り、「アムモニア」凝氣器の冷却水は、毎分二八石八の揚水能力を有する「ボ		

ンブ」二臺を以て隅田川大棧橋下より吸揚げ使用する。

尙別に一臺分の凝気器及全壓縮機氣管冷却用としては一晝夜一〇、〇〇〇石の湧出量を有する鑿井を充當し、更に其の排水は屋外の水槽に集水し一部を溶氷に他を場内撒水等の雑用に供す。

冷蔵室の檢温は、嚴密を期する爲各室に電氣抵抗溫度測定器を取付け、之を機關室の一部に設備せる溫度指示計に導きて、常時溫度の監視に便ならしむ。各冷蔵室の最低保持溫度は華氏五度乃至十度とす。

冷蔵装置は冷却能力一〇〇米噸を有する横置復動型同期電動機直結式「アムモニア」壓縮機二臺を使用し「シエル、エンド、マルテイ、パス」型鹹水冷却器による鹹水循環式にして、冷却鹹水を各冷蔵室、貯氷庫、準備室等の天井に裝備せる冷凍「セクション」に循環せしむ。更に魚類以外の青果、獸肉、鳥卵等の收容を目的とする三階各冷蔵室には、自動溫度調節器を備ふると共に「エロヒン、クーラー」による冷風循環設備を以て濕度の調整、冷気の循環及換氣を良好ならしめて、保管品の安全を期す。冷蔵室收容能力は約一、五八八噸にして、尙貯氷庫を合算すれば約二、二〇〇噸の受託收容を爲すことを得、二階及

三階の冷蔵室一の出入庫品運搬には積載量三噸の「エレベータ」二臺を使用し且つ卸賣場へは地下道を以て連絡す。

冷凍装置は、冷却能力四四米噸の二氣管單動堅型誘導電動機直結式「アムモニア」壓縮機一臺を之に使用し、「アムモニア」直接膨脹式を以てす、冷凍室には各階一室宛を當て、冷凍棚の設備を有し各種魚類の凍結を行ふ、而して各室の最低保持溫度は華氏零下三十度なり。

製氷装置は冷蔵装置同様の冷却能力一〇〇米噸の壓縮機二臺を使用し、一日一〇〇英噸の製氷能力を有す。冷却方式は「サブマーヂド、ブライン、クーラー」式にして、製氷槽は長さ約七三呎、幅三五呎、深さ約四呎のもの二槽を有し、各槽兩端に一ケ宛の鹹水冷却器を沈め、堅型の「アヂテーター」を以て鹹水を攪拌せしむ。結氷罐は三〇〇封度罐を使用し、各槽に八六八個を備へ七罐を一組とし、「グリット」を以て結束し、全電動式揚氷機の操作によりて脱氷し、之を「ローアレーター」により貯氷庫又は屋外に搬出す。原料水は水道を使用し、濾過器を通過せしめ、豫冷槽注水槽を経て結氷罐に注水し之を製氷槽に沈下せしめ、空氣攪拌を行ひつゝ結氷せしむ。

貯氷庫は機關室と共に製氷室の階下に在り、鹹水循環式の冷

蔵設備を有し、冷蔵室と等しく外壁六吋、内壁四吋の壓縮炭化「コルク」板を以て絶縁し三室に分たる、其の有効面積一三二坪

約一、二〇〇英噸の貯氷能力を有す。尙貯氷庫前「ブラットホム」の一部及築地川護岸上冷蔵庫裏に各一基宛一時間三〇噸の碎氷能力を有する碎氷塔を設備し、隅田河岸の大棧橋と相俟つて、冷蔵運搬船の氷積載に便ならしむ。其の他附屬設備として修理工場及地下排水「ポンプ」室等を有す。

六、管 理

本市場は中央卸賣市場開設の前提にして、震災直後應急的に設置されたものにして、當初商工課の主管に屬し、魚市場事務所を置きて専ら事務を執掌せしが、大正十三年七月庶務規程改正に伴ひ東京市魚市場として獨立し、庶務、管理、調査、冷蔵庫の四掛を置き魚市場に關する一切の事務を處理し、次で大正十五年十一月職制改革の結果再び商工課の所管に復したれども、昭和六年七月中央卸賣市場の獨立と共に其の所管下となれり。されど本市は市場に於て自ら營業するものにあらず、東京魚市場組合員をして營業を爲さしめ、本市は之が管理統制に任ず。而して東京魚市場組合員は組合規約を作製し、本市を經由

し警視廳の認可を受け、本市場建築の店舗を賃借し、以て魚介類の取引に従事し居るものなり。

七、東京魚市場組合

本組合は嘗て日本橋魚市場組合と稱したりしが、昭和三年四月四日規約の一部改正と同時に、名稱をも東京魚市場組合と改稱、役員は組合長一名、副組合長一名、理事は從來五名なりしが、昭和八年九月二十七日規約改正のため七名に増員、監事二名他に代議機關として三十七名の代議員を選出し、總組合員は一千二百九十四名なり。昭和三年七月十四日新に警視廳令第二十九號食品市場取締規則の發布に依り、同九月末日組合員全部の營業許可を得て今日に及べり。

(一) 主 要 機 關

1 問 屋 問屋とは荷主より魚荷の委託を受け之を仲買に賣渡す業を爲すものを言ひ、斯業を營むものは組合に手數料五十圓、身元保證金五百圓を納入し鑑札の交付を受けるを要す。問屋の專業者は十八名にて、規定されたる委託販賣の手數料は、賣上高の七分乃至一割以内とす。

問屋兼仲買 問屋兼仲買とは、同一人にして問屋及仲買

人の兩者の手数料並に身元保証金を各々組合に納入し、以て問屋仲買二つの鑑札を受けたるもの言ひ、一方問屋として荷受を爲すと共に、又仲買人として一般買出人に販賣を爲し得るもの言ふ。其の數七五三名ありて、本市場の取引に關する樞軸を爲すものなり。

ハ 仲 買 仲買も問屋に次ぐ主要なる販賣機關なり。

專業者五二三名、其の業務は魚荷を問屋より受け、之を一般買出人に販賣するものにして、業者は組合規約に依り直接荷主より魚荷の委託販賣を引受くる事を許されず。加入手数料二十圓身元保証金百圓を要す。

(二)補助機關

イ 小揚及輕子 小揚(かしあげ)とは魚荷の陸揚及荷捌を爲し店舗迄運搬するもの言ひ、輕子とは仲買又は問屋兼仲買に隸屬し、問屋兼仲買、仲買が買出人に賣渡したる魚介を指定の場所に配達するもの言ふ。二者共各別に組合を組織し、東京魚市場組合より鑑札を受け、同組合に附屬し、市の認可を受け、營業に従事するものなり。小揚組合に屬するもの二三九名補助員約三〇〇名内外に

して、輕子組合(親興組合と稱す)に屬するもの六二〇名外に同補助員二六〇餘名あり。

口 附屬運送業者 到着運送業者にして市場内に事務所を有するものは、東京魚市場運送組合なるものを組織し、各驛當市場間の魚荷の運送及場内魚荷の荷捌に従事す。組合員は十五名なり。其他地方出荷業者十四名、發送運送業者二十名ありて、地方行魚荷の荷造り及移出を掌る業務に従事す。

ハ 買荷保管所營業者 買荷保管所は俗に潮待茶屋、棒手茶屋又は單に茶屋と稱し、一定の料金を徴し以て買出人の貨物自動車、自轉車、荷車等を預ると共に、其の買受けたる魚介が輕子に依りて配達されたるものを取纏め、之を保管し、彼等の買出中の安全便宜なる荷預所たるものなり。業者一九八名、其の保管料金は時に高低あれども、一日一輛に付、貨物自動車一圓自轉車二十錢、リアカー二十五錢、荷車は三十錢内外なり。尙この外に無料買荷保管所の施設あり。

ニ 附屬商 附屬商と稱するは、場内にて主に魚商の需要品たる妻物、荒物及飲食物等を販賣するもの言ひ、

二時に及ぶことあり。一月一日及毎月二十二日を市場の定休日となし、當初より之を實行す。

九、販賣方法

問屋對仲買間の取引は相對にして、仲買人對買出人の取引も亦相對賣買なり。問屋は特約以外は賣立後直ちに荷主に送金し、仲買人は現金取引或は毎月計算に依り買出人に販賣するを例とす。

十、買出人

買出人は、市内及近郊にある魚商、料理店、飲食店、鮎屋、そばや、天ぶら屋、辨當屋、仕出屋、棒手等にして、之等日々の入場數は二萬乃至二萬五千内外にて遠くは八王子、横濱、千葉、浦和、前橋、高崎、水戸等より貨物自動車、オートバイ等を利用し來る者尠からず。

十一、衛生其他

イ 汚物處分 鮮魚及鹽乾魚の荷役を爲すために生ずる包装用繩、腐、菰藁、箱屑、塵芥、其他魚腸骨、貝殼、屎尿等の汚物は、衛生上忽諸にすべからざるところより日々

其の種別は妻物を始め青物、漬物、果物、乾物、鳥肉、荒物、靴屋、金物屋及天ぶら、壽し、西洋料理、そば、牛乳、パン、しるこ屋等にして、營業者一九九名、之亦附屬商組合及飲食業組合を組織し、其他煙草、鹽、氷、包装材料、自轉車自動車附屬品販賣並に修理、度量衡器販賣等合計九名の營業者あり。

ホ 郵便局 中央卸賣市場築地本場建築工事の進捗に伴

ひ、場内に在りし京橋郵便局築地分室は新建物青果第一卸賣人賣場階上に移轉し、從來通り、電信、郵便其他一般の通信事務を取扱ひ居れり。

ヘ 銀行 三菱銀行出張所を設け、場内營業者の取引に便す。

ト 診療所 銀行建物階下の一部を利用し、魚市場組合囑託醫をして、場内關係業者並買出人等に對し、實費を以て救急の手當、其他一般的治療手當等の診療に當らしむ。

八、市場開市時間

取引時間は毎日未明より正午迄なるも、魚荷多き時は午後一

之を場外に搬出處分す。

口 場内洗滌 既に構造設備の項に於て述べたる如く、洗滌用水道栓に護謨ホースを取付け、毎日午後汚物掃除後之を以て場内一般を洗滌し、清潔の保持に意を用ふ。

ハ 防蠅及消毒 場内路面其他を洗滌する傍、毎日店舗下水及び之より注入するマンホールを浚渫し、汚泥は場外に搬出處分し、更に河岸、棧橋、便所其他蠅蛆發生の虞ある場所には、如露及ポンプ式噴霧器を以てクレシン或はデシンを撒布す。其の量夏期にありては一日十五珎入を三罐乃至四罐を約三十倍に稀釋したるものを用ふ。

ニ 大掃除 食品市場のことなれば、特に衛生に重きを置き、毎年五月より十月に至る六ヶ月間は、毎月一回東京魚市場組合員と協力し、營業者總動員の上店舗内外の大掃除を施行す。特に飲食店營業者に對しては毎月一回之を施行せしむ。

ホ 防火施設 場内路面の洗滌用水栓を出火時に消火用に兼用することは前述の如くなるも、外に場内適當の場所に設けたる三ヶ所の消火栓に常時用意あるホースを取付け、直ちに消火に當り得るの準備あり。平常ホースは捲

車に捲き格納庫に納め、非常時の際は之を搬出し水栓に取付け放水するものなり。尙夜間の火氣取締に付ては、宿直員及守衛をして盜難豫防と共に徹夜にて之が警戒任務に當らしむ。

ハ 交通取締 場内は一萬二千九百餘坪の廣域を占有すと雖も、日々二萬餘の人員を吞吐するものなれば、盛り時の混雑は意想外なり。而して時を争ふ品物の取引なれば、各人の精神異狀に緊張し、寧ろ殺氣立つと言ふも可なるべく、又自轉車自動車の輻輳する爲交通事故を起し易く、之が安全を期する爲、水陸請願巡查、管理係、守衛等其の取締に任す。

第二章 取引

一、商況一般

昭和八年に於ける取引狀況を顧るに、現内閣に依る通貨膨脹政策の影響は、漸くにして本市場にも現はれ、前年度に比し幾分好轉の途にありし處、更に五月に至り爾價上昇し、地方農村の經濟復興其の緒につき、加之軍需品工業の復活は一般商業界

にも生氣を與へ、一般の購買力も漸次回復し、本市場取引上にも好影響を及ぼし、入荷數量は前年に比し増大せるに拘らず、相場は反つて上昇を示し、商勢次第に活潑となり、前途に光明を認むるに至れり。

例へば、花見季節の四月、祭月と稱せらる十一月等、數年來不況を續けしも、本年は賣行相當良好にして、尙毎年最も不振を告ぐる六、七、八月の暑期も、尙比較的活潑なる荷動きを示せるが如き、次第に景氣回復の兆を示せるものと推せらる。

次に特定魚類數種に就き、本年に於ける商況を左に摘録すれば
一、マグロ は四季を通じて間斷なく、市場に上場賣買せらるゝものにして、漁場竝に漁獲數量は季節に依りて異り、北に多く、南に多く、近海に多く、或は北陸沿岸に多く、全國に亘りて漁獲せらるゝも、各地共盛漁薄漁の時期一樣ならず、従つて鮮度の良否、入荷數量の多寡に依りて市況を左右せらるゝ事多し。

各月を追ふて詳述すれば、一月上、中旬は三陸、日向、土佐各地産共入荷せしが多量ならず、上昇し、下旬に至り、日向土佐産の入荷増加し、近海産の入荷も加はり、漸落せる

も、十二月平均に比すれば約二割方の昂騰を示せり。二月に入り、上旬は各地産共出廻薄にして、前月と大差なかりしも、中旬に至り日向、土佐方面よりの入荷激増し、急落を示し、下旬に至り稍々上昇せるも、尙前月に比すれば二割内外の低落商況なりき。三月は、上旬各地産共甚だ品薄にして、上昇商況なりしも、中旬以降油津、清水、室戸等の關西物豊漁にして、加之下旬伊豆、沼津等の近海産も入荷輻輳せるため急落し、約半値となり、關西物は遂に二十圓臺を割るの安値商況となれり。然るに、四月に入りても、上旬は尙各地産共出廻り多く、且つ暖氣加はりしたため、荷動き不活潑にして、日向、土佐産の如きは續落し、十圓臺を割るに至れり。併し中旬以降、入荷漸減と共に次第に回復し、上旬の倍値以上に復活せり。五月は引續き各地産共出廻り少く、中旬以降三陸産の入荷を見たるも尙少量にして、次第に高値となり、月平均に於ては約十割方の激騰を示せり。六月に入り、土佐方面よりの入荷は漸減せるも、これに代り三陸産の入荷増加し、且北陸産も出廻り、連日入荷絶えず、加之肉質不良にして、脂肪焼けの大部分を占めしたため、各地産共旬を追ふて低落し、月平均五、六割方の暴落商況なりき。七月は近海産漸減

せるも、三陸産の入荷引續き多く、且つ噴火灣及釧路方面の北海産の出廻り相當多量にして、加之暑氣厳しきため、漸落の一途を辿り、下旬の如き、三陸北海産共十圓臺を割り、次品は四圓内外の安値取引なりき。八月は近海産の入荷杜絶し釧路、噴火灣を中心とする北海産を主とし、釜石方面の三陸物も時々入荷し、出廻り左して少量ならざりしも、品質漸次回復と共に高値に轉じ、五割乃至十二割方の急騰を示せり。九月に入りても、出廻り多量なりしが、涼氣加はり、需要増加し、相場は一進一退、左して變動を示さざりき。十月に入りても、依然各地産共出廻り豊富なりしも、需要更に加はりしため、中旬稍々低落せるに拘らず、尙前月に比すれば一割乃至三割方の上昇商状なりき。十一月は、北海、三陸産共入荷漸減し、肉質良好なる上、需要盛期に入りしため、旬を追ふて昇騰し、前月に比すれば更に五、六割方の上昇なりき。師走に入りて、北海産の入荷杜絶し、三陸産を主とし、これに近海産を交へしが、出廻り少く、且つ最需要期の事として賣行良好にして、旬を追ふて上昇し、下旬の如きは俄然入荷激減し、需要を充すべくもあらず次第に強氣配となり、前月に比し六割方の騰貴を示すに至れり。

一、タヒ 鯛は魚類中最高位を占むるものにして、祝儀用は勿論、上等料理に遍く使用せられ、需要四季を通じて絶ゆることなし。
一月は時節柄品薄にして、中旬幾分出廻り増加と共に稍々低落したる他は、漸騰の一途を辿り、昨年末に比し三割乃至六割方の高値商状、カスコタヒ、ハナタヒ、關西産レンコタヒ等も、同様上昇氣配を示せり。二月に入りても、漁事更に稀薄となり、各地産共品不足を告げ、中旬以降臺灣産タヒの入荷を見たるも、尙需要を充すに足らず、昇騰に昇騰を重ね、近海産中タヒの如きは連日百圓臺を下る事なく、前月に比し更に一割方の高値、其他カスコタヒ、ハナタヒ等も上昇氣配なりしが、關西産レンコタヒは入荷順調にして、左して昇騰せず、僅かに一般の購買力を滿すに過ぎざりき。三月に入りても各地産共依然品薄を續け、前月に比し更に上昇し、本市場開設以來の最高記録を現出せり。又關西産レンコタヒは、上旬出廻り多く安値なりしも、中旬以降再び上昇し、前月に比し一、二割方の昇騰を示せり。四月に至りては、氣候溫暖となり、産卵期に近づくと共に入荷漸増し、各地産タヒ、ハナタヒ、カスコタヒ等三、四割方の急落商状又關西産レンコタ

ヒも花見季節にて賣行比較的良好ながらも、出廻り多きため幾分低落せり。五月は例年の如く産卵期を控え、盛漁期を迎へ、近海、常磐を初め、能代、越後、關西各方面よりの入荷多く漸落し、前月に比し約半値に低落し、關西産レンコタヒの安値に連れ二割内外の下落を示せり。六月は、産卵直後のため肉質良好ならず、旬を追ふて低落し、殊に能代産は連日豊漁にて、入荷幅輻と共に急落し、二十圓臺を割り、遂に惣菜物の範圍に侵入するに至れり。従つて關西産レンコタヒも此の影響を受け、加之漁期終熄に近づき、荷動き捗々しからず、三割方の低落商状なりき。七月は、例年の如く各地産共出廻り激減し、三割内外の上昇を示せるも、關西産レンコタヒは、入荷薄にも拘らず、肉質不良のため左して變動は示さざりき。八月に入りても、前月同様入荷僅少にして漸騰し、一割乃至三割方の上昇、關西産レンコタヒも下旬より再び入荷を始めしが、タヒ類の高値に伴ひ、比較的高値に取引せられたり。九月も依然入荷少く漸騰し二割内外の上昇、關西産レンコタヒも氣配高商状なりき。十月に至りては、各地産共入荷激増せるため、需要多きに拘らず、僅かに一割内外の上昇を示せるのみ、關西産レンコタヒは、荷動き活潑を加へ二

割内外の上昇を示せり。十一月は、例年の如く、婚禮季節なる上、七五三祝、明治節、西の市、夷講等あり、需要甚だ多かりしも、近海産の他、常磐、三陸、三州、關西等の各地よりの出廻り多量にして、豫期に反し、一、二割方の低落を示せり。然れ共、關西産レンコタヒは安價品にて一般に歡迎せられ、前月と大差なき商状なりき。十二月に入りては例年の通り最需要期に拘らず、各地産共入荷激減し、殊に下旬に至りては、出廻り著しく少く何れも上昇商状、關西産レンコタヒの如きも、品質不良に拘らず、タヒ類の高値に伴ひ、一割内外の昇騰を示すに至れり。
一、サバ 惣菜物中、春夏秋冬を通じ、最も豊富に供給せられ、市民の食膳を賑はしつゝあるものゝ一として、先づ指を屈せらるゝものは、サバを第一とす。
一月より五月迄は、天津、千倉、平館、布良等の外房筋、竝に勝浦方面を主とし、伊豆、三崎沿岸及沼津、大磯等の東海道沿岸の外、大島方面よりの品を交へ、五月は常磐、九州方面より入荷あり、六月に入りて三陸方面よりも入荷あり、一月は高値にして、二月出廻り増加し軟弱氣配、三月再び上昇し、四月以降月を追ふて漸落せるも、例年の如き安値は示

さざりき。七、八月は、常磐、三陸、能代、九州方面よりも入荷せしが多量ならず、大して變動を示さず、九月以降近海産の外、三陸、九州、朝鮮産等も毎月入荷せるも、涼氣加はり、人氣良好にして漸騰せるも、十二月に至り、朝鮮産の入荷幅轉し、安値に轉じたり。

一、燒竹輪 は相場低廉且つ調理の簡便なる點より、一般消費者の嗜好に投じ、重寶なる惣菜物として遍く歡迎せらる。

燒竹輪の出荷地は、鹽釜を第一とし、函館、青森、氣仙沼、石ノ巻等にして、稀に釧路、室蘭等より多少入荷を見ることあり。出荷期は一月より六月に至る上半期と、九月より十二月に至る下半期の二期にして、盛夏の七八月の兩月は出荷殆んど稀なり。需要の最盛期は歳末たる十二月にして、一月より三月に至る三ヶ月と、十、十一の二ヶ月の寒冷の季節に於ては、略々相似たる賣行を示し、四、五月は漸次賣行遞減し、六月竝に九月は暑熱も相當強き季節にて、保存も困難なる關係もあり、入荷薄なるも需要減退し、賣行滯り勝なりき。

一 月

年更ると共に入荷減少し、下旬幾分増加は示したるも、尙月平均六百三十三噸の少量なりしたため、相場は概して上昇氣配な

りしが、入場者も亦少く、人氣不振にして、商勢不活潑なりき。
刺身物——マグロは、近海産を初め、三陸、日向、土佐産等出廻りしも、何れも少量にして、昨年末よりも二割内外の昂騰、カチキ、メバチ、ビンナガ、メチ等も、需要多く上昇氣配なりしも、メカチキは、近海、三陸産共、出廻り多量にして下押商狀を示せり。

上物——タヒ類は一般に入荷少く、近海産大中小タヒ、カスコタヒ、ハナタヒ、常磐産タヒ等何れも品薄にして、越後、能代方面より入荷ありしも尙品不足を告げ、三割乃至六割方の上昇、關西産レンコタヒも同様高値氣配なりき。

ヒラメは各地産共入荷少く二割内外の高値なりしも、エビ類は人氣芳しからず、前月と大差なき商狀を示せり。

惣菜物——ブリは、近海産の外、北陸、紀州及關西産の出廻りあり、相當多量なりしも、季節向のものとして大して低落せず順調なる取引、其他サバ、キンメ、三陸産メヌキ、北海産タラ等は比較的入荷多く、相場は概して下押氣配なりしも、スルメイカ、ムツ、アコウタヒ、北海産カレヒ類等は品薄にして高値取引なりき。

鹽干魚其他——新巻サケ、スルメ類、鹽タラ、數ノ子等は、

年末需要の直後とて、商内閑散にして漸落商狀を呈せり。

冷凍魚——一般魚介の出廻り少く、上場せられし數量五百五十一噸の多量に達せり。サケ、イカ、カチキ、メカチキ、メチブリ、ワラサ、米國産エビを主とし、生物品薄の際とて、比較的荷動き活潑なりき。

二 月

本月は、例年入荷薄の時期に拘らず、一日平均七百八噸に達し、二月としては本市場開設以來の最高記録を現出し、一方入場者は反つて減少し、買人氣不振を極め、賣行抄々しからず、市況甚だ閑散なりき。

刺身物——マグロは、上旬品薄のため高値を持續せしも、中旬以降日向、土佐方面よりの入荷増加し、漸落し前月に比し二割内外の低落、カチキもマグロに押され氣味にて三割方の急落、其他メバチ、ビンナガ、メカチキ、キハダ等も、マグロと同一歩調を辿り、安値商狀を呈せり。

上物——タヒ類は、各地産共品薄底し、臺灣産タヒの入荷も尙需要を充すに足らず、高値に高値を重ね、一割内外の上昇を示せり。これに反し、關西産レンコタヒは、入荷順調なりしたため前月と大差なき商狀なりき。

又ヒラメ、エビ類等も同様入荷少量のため氣配高商狀を示せり。

惣菜物——ブリは、上旬は高値なりしも、中旬以降伊豆方面より入荷あり、殊に下旬は大漁にして、連日入荷殺倒し、次第に安値に轉じ三割方の暴落、ワラサ、イナダも同様低落商狀、ムツも漁期に近づき出廻り増加し安値氣配、サバは伊豆房州方面よりの入荷多く四割方の急落、キンメ、三陸産メヌキも同様安値取引、北海産カレヒ類は例年に比し薄漁にして、殊にマガレヒは品薄のため昂騰氣配なりしも、赤カレヒ、イシカレヒ、ナメタカレヒ、アサバカレヒ等は人氣鈍く、左して上昇は示さざりき。

鹽干魚其他——新巻サケは、各地産共次第に品薄となりしも、米國産サケの出廻り多く、押され氣味にて下押商狀、スルメ類も同様安値氣配なりしも、無頭タラは入荷減少し上昇商狀、又チクワも人氣回復し高値氣配なりき。

冷凍魚——一般魚介類の入荷多く、上場せられし數量前月に比し六十四噸減の四百八十七噸、サケ、イカ、ブリ、ワラサ、メカチキ、カツヲ、米國産エビ等にして、サケ、イカを除きては大して人氣なく、何れも安値商狀に轉せり。

三 月

本月の入荷は、前月に比し一日平均四十三噸の減少を示し、これに反し入場者は反つて幾分の増加を示せるため、荷動き相當活潑なりき。

刺身物——マグロは、上旬各地産共品薄のため幾分上昇せるも、中旬以降油津、清水、室戸方面よりの入荷激増し、下旬に及びては伊豆、沼津方面よりも多量入荷あり、上旬に比し約四、五割方の急落を示せり。これに反し、カチキは入荷薄のため四、五割方の上昇なりき。其他メカチキ、メバチ、ピンナガ、メヂ等は前月に比し入荷、相場共に大して變動なかりき。

上物——タヒ類は、關西産レンコタヒを除きては、各地産共品薄を續け、續騰し、本市場開設以來の最高記録を現出せり。又ヒラメ、サワラ、エビ類等も、品少く昂騰商狀なりき。

惣菜物——ブリは依然近海産の出廻り多く、加之紀州産の入荷も増加し三、四圓方の安値、ワラサ、イナダ等も同様低落氣配、朝鮮産ニシンも出廻り多く下落し、アヂ、ムツ、イワシ等も亦安値商狀なりしが、サバ、キンメ、イカ、三陸産メスキ、北海産カレヒ類等は概して上昇氣配なりき。

鹽干魚其他——新巻サケは次第に品薄となりしも、商内抄々

入荷漸増し、各地産タヒ共四割乃至二割方の低落、關西産レンコタヒも、花見時とて賣行良好ながらも、出廻り多きため同様下押氣配なりき。

其他ヒラメ、サワラ、エビ類等も入荷増加し、軟弱氣配を辿れり。

惣菜物——アヂは旬を追ふて出廻薄となり二割方の上昇、サバ、イワシは入荷相當多量ながらも人氣良好にして氣配高なりしも、ブリは既に需要期を過ぎし上、中旬以降關西産の出廻りもあり下押氣配、其他ワラサ、イナダ、ムツ、イカ、三陸産メスキ、北海産カレヒ類等も安値取引なりき。ニシンは、上旬より朝鮮産の外、北海産も出廻りしが、例年に比し薄漁のため稍々高値氣配、又季節物として上旬より三宅、八丈等の伊豆諸島より、トビウヲ入荷したるも、人氣良好なる上、品薄のため、前年に比し一、二割方の高値に取引せられたり。

鹽干魚其他——新巻サケは、中旬以降品切れとなり、鹽サケも品薄となり、幾分上昇氣配なりしも賣行不振、スルメも氣乗薄商狀なりしが、カツヲナマリは焼津、清水方面より新入荷し比較的高値取引、其他無頭タラ、粕漬メスキ、タラ等は、需要季節なりしため小堅き商狀を示せり。

しからず、下押商狀を示し、チクワ、朝鮮産身欠ニシン、スルメ類等も同様安値氣配なりき。

冷凍魚——本月上場せられしものは、主としてサケ、イカ、米國産エビ等にして、其の量四百八十四噸、前月と大差なかりしも、イカを除きては人氣大して引立たざりき。

四 月

陽春四月に入ると共に、出廻盛期に近づき、一日平均七百三十五噸の多量に達し、一方買出人も一日平均約二千二百人の増加を示し、花見季節とて、相當活潑なる市況を豫想せられたるも、天候不良の日多く、ために前月より好轉せりとは云へ、尙豫期せるが如き商内を見る事能はざりき。

刺身物——マグロは、上旬に於ては依然各地産共出廻り甚だ多く、土佐日向産の次品の如きは十圓臺を割るに至り、中旬以降薄漁にて漸騰せるも、尙前月に及ばず下押商狀、カチキも出廻り多く二割方の低落、メヂも漁期に入り、沼津、伊豆方面の他、紀州方面よりも多量入荷し三割方の急落、カツヲも焼津、清水、沼津方面より出廻り初めしが、品多きため安値商狀を呈せり。

上物——タヒ類は、氣候溫暖となり、産卵期に近づくと共に

冷凍魚——サケ、イカ、米國産エビ等にして、上場せられし數量三百八噸、季節としては比較的多量なりしも、鮮魚賣行好轉に伴ひ、何れも上昇氣配なりき。

五 月

五月に入りても、前月と同様魚荷出廻り潤澤にして、一日平均十三噸の増加を示し、一方入場者も増加せるも、近海産の出廻り多量にして、相場は下押氣配のもの多く、氣温上昇せるため、賣行大して良好ならざりき。

刺身物——マグロは、各地産共入荷少量にして、中旬以降三陸産出廻りしも尙品薄にして、前月に比し約倍値を示し、カチキも出廻り少く二、三割方の上昇其他メカチキ、メバチ、メヂカツヲ等も、マグロの高値に伴ひ上昇氣配を呈せり。

上物——タヒ類は、上旬は入荷少量なりしも、産卵期の事とて、中旬以降近海産を初め、常磐方面よりも入荷あり、下旬に入り常磐、能代、越後及關西産の出廻り多く、漸落し、近海産の如きは約半値に低落せり。又關西産レンコタヒも平均四、五圓方の下落、ヒラメも入荷増加せる上、不味のため人氣不振にして安値氣配なりしも、エビ類は入荷薄のため上昇氣配を示せり。

惣菜物——ブリ、ワラサは變動なかりしも、イナダは入荷多
く安値商状、サバは房州、大島方面よりの入荷激増し、アヂ、
トビウヲも近海、大島及紀州方面より多量出廻り、又スルメイ
カ、ヤリイカも品豊富にして何れも安値に轉じ、三陸産メヌ
キ、關西産ホウボウ、北海産カレヒ類、ニシン等も漸落商状な
りき。

鹽干魚其他——鹽サケは、昨年より持越しのものは人氣引立
たず保合商状なりしが、中旬以降入荷せし新サケは、人氣に投
じ順調なる賣行を示し漸騰商状、カツヲナマリは焼津、清水よ
りの外、三崎房州、方面よりも入荷し出廻り豊富にして下押氣配
其他スルメ、無頭タラ、粕漬メヌキ等も同様低落商状なりき。
冷凍魚——サケ、米國産エビのみ、僅かに八十五噸上場せら
れ、前月と大差なき商状を示せり。

六 月

本月に入りて入荷幾分減少せるも、尙一日平均七百十二噸に
して少量ならず、且つ中旬以降温度急騰し、暑氣加はりした
め、相場は概して下押氣配を辿りしが、地方農村の鹵値上昇に
伴ふ購買力回復は、市況に好影響を及ぼし、例年不振の時期に
拘らず、人氣漸次好轉し、相當活氣ある商状を呈せり。

配、これに反しサバは農村に搬出せらるゝもの多く、多量なり
しも低落を示さざりき。

鹽干魚其他——新サケは根室の外、室蘭、釧路、浦河方面よ
りの出廻り多く下落し、カツヲナマリも引續き入荷多く一圓方
の低落、これに反しスルメは品薄となり各地産共上昇商状なり
き。

冷凍魚——全然上場せられず。

七 月

本月は夏枯れ時とも云ふべく、一日平均六百六十八噸の少量
なりしが、一方入場者も少く、加之暑氣厳しく、且つ下旬に至
り諸學校暑中休暇に入り、學生、生徒の歸國するもの等帝都を
離るゝもの相繼ぎ、例年の如く需要大に減退し、商状不振とな
れり。

刺身物——マグロは、近海漸次減少せるも、三陸産は引續
き入荷し、且噴火灣及釧路方面の北海物も出廻り多量にして、
相場は漸落氣配を辿り、本年の最低記録を現出したが、カチキ
は依然入荷薄にして保合氣配、キハダは品薄なる上、季節物と
て人氣良好にして四、五割方の上昇、其他メバチ、メヂ、カツヲ
等も同様出廻り少く昂騰商状なりき。

刺身物——マグロは土佐方面よりの入荷漸減せるも、これに
代りて三陸産連日多量入荷し、且つ下旬三陸方面より中マグロ
の出廻りあり、加之肉質不良にして脂肪焼のもの大部分を占め
したため、旬を追ふて低落し月平均五、六割方の暴落商状、其他
カチキ、メカチキ、メバチ、ビンナガ等もマグロと同一歩調を
辿り、又メヂ、カツヲも能代産メヂの安値に壓倒され下落せし
も、キハダは季節物として人氣比較的良好にして高値に取引せら
れたり。

上物——タヒ類は、産卵直後とて肉質良好ならず、近海、常
磐、三陸産タヒ、カスコタヒ、ハナタヒ等何れも下押氣配、殊に
能代産タヒは連日出廻り多く十圓臺に至れり。又關西産レンコ
タヒは、漁期終熄に近づき、荷動き捗々しからず、三割内外の
低落を示せり。其他ヒラメ、サワラ、エビ類等も出廻り増加し、
何れも低落商状なりき。

アユは、本年は薄漁なりしたため、人氣薄にも拘らず、前年に
比し稍々高値を示せり。

惣菜物——一般に品豊富にして、ワラサ、イナダ、イカ等何
れも安値取引、イサキ、スマキ、トビウヲ等の季節物も荷動き良
好ながらも出廻り多く漸落し、アヂも同様入荷多きため下押氣

上物——タヒ類は、各地産共一般に入荷減少し、四割乃至二
割方の上昇を示せるも、關西産レンコタヒは、入荷薄にも拘ら
ず、品質不良のため昂騰を示さざりき。

活魚類は、暑氣加はると共に人氣好轉し、荷動き比較的良
く上昇商状、アユ、ウナギ、ドゼウ等の川魚類も、需要期に拘ら
ず入荷僅少にして、何れも高値取引なりき。

惣菜物——一般に入荷少く、アヂ、サバ、イカ、トビウヲ等
何れも高値なりしも、イナダ、ワラサ、三陸産メヌキ、北海産
サケ等は、人氣引立たず、安値に取引せられたり。

鹽干魚其他——新サケ、新マスは、引續き各地よりの入荷多
く漸落商状、日魯冷蔵新巻サケは上旬より入荷し、稍々高値に取
引せられたるも、旬を追ふて出廻り増加と共に低落せり。又伊
豆諸島よりのクサヤ干物は、季節向の品とて、高値ながらも良
好なる賣行を示せり。

冷凍魚——全然上場せられず。

八 月

本月の入荷は、前月に比し稍々増加せしも、尙一日平均六百九
十噸の少量にして、加之近海産魚荷は引續き出廻り少きため、
相場は依然上昇氣配なりしも、連日降雨なく、炎暑厳しく、

食慾不振の時期とて人氣引立たず、不活潑なる商勢に終始せり。
刺身物——マグロは、近海産の入荷杜絶し、噴火灣釧路を中
 心とする北海産を主とし、釜石方面よりも時々入荷し、出廻り
 も少量ならざりしも、品質漸次回復し、高値に轉じ、月平均五割
 乃至十二割方の急騰、中マグロも釧路方面より多量入荷せし
 が、荷動き良好にして六割乃至十割の上昇を示し、カツヲは近
 海産の他、常磐、三陸方面よりも入荷せしが、マグロの高値に
 伴ひ昂騰氣配、其他カチキ、メチ、メカチキ等も上昇商狀なり
 き。

上物——近海産大中小タヒは前月同様入荷僅少のため三割内
 外の昂騰、カスコタヒ、ハナタヒ、常磐、三陸産タヒも亦一割
 乃至三割方の上昇、關西産レンコタヒは下旬より出廻り始めし
 が、タヒの上昇に連れ比較的高値取引なりき。

惣菜物——一般に出廻り少く、ワラサ、イナダ、ワカシ等の
 安値なりし外は、季節向のイサキ、トビウヲ、タカベ等何れも高
 値を示し、サバ、スルメイカ、イワシ等も品薄のため氣配高商
 狀又アヂは近海産の外、常磐、三陸、朝鮮産等出廻りしも、人
 氣良好にして比較的高値に取引せられたり。

鹽干魚其他——カツヲナマリは、東海道筋のみならず、三崎

高値取引なりき。

サンマは、本年より禁漁期制定せられ、例年より約二週間遅
 く、二十六日より三陸産入荷を初めしが、比較的品質良好にして
 人氣に投じ、一尾八錢乃至四錢に取引せられ、昨年に比し二、
 三錢方の上昇を示せり。

鹽干魚其他——スルメはイカ不漁のため品薄にして強氣配、
 ナマリも依然品薄にして續騰商狀なりしも、冷蔵新巻サケは引
 續き出廻り多く軟弱氣配、タサヤ干物も連日入荷多く低落商狀
 なりき。

冷凍魚——上場せられず。

十月

出廻盛期に近づき、各地産共増加し、一日平均八百九十六噸
 の多量にして、十月としては開場以來の最高記録を現出せるも、
 入場者も一日平均約二萬五千人を算し、加之一般鮮魚介需要期
 の事とて、商内活氣を加へ、順調なる賣行を示せり。

刺身物——マグロは、前月同様三陸、釧路方面より多量入荷
 せしも、需要増加し、中旬幾分安値なりしに拘らず、月平均二
 割乃至三割方の上昇、カツヲも亦近海産の他、常磐、三陸方面
 より出廻り多量なりしも、人氣良好にして氣配高商狀、これに

房州方面の外、三陸産も出廻りしが、カツヲの高値に伴ひ氣配
 高商狀なりしも、冷蔵新巻サケは漸次入荷増加し軟弱氣配、ク
 サヤ干物も、三宅島新島方面よりの入荷多く、安値商狀なりき。
冷凍魚——全然上場せられず。

九月

本月に入りて、魚荷は漸次増加し、一日平均五十二噸の増加
 を示せるも、入場者も亦多く、涼氣加はると共に需要喚起され、
 市況活氣を加へ、順調なる取引狀況を現出せり。

刺身物——マグロは、三陸、北海産共出廻り相當多量なりし
 も、肉質良好且つ需要増加し上昇氣配、カチキも各地産品薄
 のため二割乃至四割の昂騰、メチも亦高値氣配なりしが、カツ
 ヲは出廻り多く下押商狀なりき。

上物——タヒ類は、前月同様各地産共出廻り少く何れも高値
 商狀、ヒラメ、サワラ、エビ類等も同様氣配高なりしも、クロ
 タヒ、フツコ、カレヒ等の活魚類は、涼氣加はると共に人氣芳
 しからず、下押商狀を呈せり。

惣菜物——サバは入荷相當多量なりしも、季節物なる上、品質
 良好にして高値氣配、其他トビウヲ、ソウダカツヲの安値なり
 し外は、ブリ、ワラサ、イナダ、イサキ、イカ、アヂ等何れも

反し、カチキは三陸産の出廻り多く一割方の低落、メチ、メバ
 チも同様下押商狀なりき。

臺灣産キハダは上旬より入荷を初めしが、マグロの高値に伴
 ひ荷動き良好にして、比較的高値に取引せられたり。

上物——タヒ類は入荷相當増加せるため、需要多きに拘ら
 ず、左して昂騰せず、近海産は一割乃至五分、常磐、三陸、關
 西産は一割内外の上昇を示せるのみなりしが、關西産レンコタ
 ヒは品薄なる上、賣行良好にして二割以上の上昇を示せり。
 又ヒラメは美味を加へ一割方、サワラは二割方の高値、其他
 シマアヂ、カンパチ、エビ類等も漸騰商狀を呈せり。

惣菜物——ブリ、ワラサ、キンメ、サバ等は品薄のため一割
 乃至二割方上昇せるも、其他は一般に品豊富にして、サンマは
 三陸方面連日豊漁を告げ、下旬に至り銚子、九十九里沿岸より
 も入荷し月平均四割方の急騰、スルメイカは近海産の外、三陸、
 北海産の入荷漸増し下押氣配、コノシロ、コハダは灣内大漁に
 して日を追ふて低落し、其他アヂ、トビウヲ、イサキ、スマキ、
 ボラ、タカベ等は、季節外れのため安値取引なりき。

鹽干魚其他——新巻サケは、冷蔵新巻の外、根室産上旬より、
 北見、三場所産中旬より夫々入荷を初めしが、本年は著しく不

漁を傳へられたため、前年に比し高値を呈し、スルメも品薄のため二割内外の昂騰、チクワも需要期に入り上昇商状を示せり。

冷凍魚——全然上場せられず。

十一月

出廻盛期の事とて、本月も引き続き各地産魚荷の入荷潤澤にして、一日平均九百六十九噸の多量に達せるため、例年上昇時期に拘らず、相場は反つて下押氣配を辿りしが、入場者も一日平均二萬六千人を突破し、且明治節、七五三祝、西の市、夷講等の祝日祭事あり、需要増加し、荷動き比較的良好なりき。

刺身物——マダロは各地産共入荷漸減し月平均五、六割方の上昇、メバチ、キハダ等も高値なりしが、カチキ、メカチキ、メチは大同小異にして、左して變動は示さざりき。

上物——タヒ類は、近海産は減少せるも、常磐、三陸、三州、關西等の遠海産は入荷多きため、相場は反つて下押氣配を示し、一割内外の低落なりしも、關西産レンコタヒは、割安のため比較的賣行良く、前月と大差なき商状を示せり。

又サワラ、ヒラメ、エビ類等は、品薄のため高値商状なりき。惣菜物——ブリ、ワラサ、北海産サケ等は品薄のため高値な

りしも、サバ、ムロアチは大島方面連日大漁にして、入荷輻輳し、又イカ、サンマ、イワシ、ソウダカツヲ、三陸産メヌキ、北海産タラ、カレヒ類等も品豊富にして、何れも安値商状なりき。

鹽干魚其他——根室、北見、三場所産新巻サケ、冷蔵新巻、改良サケ等は、次等に需要期節に入りしも、入荷少く一、二割乃至四割方の昂騰、各地産スルメも、イカ依然不漁のため二割内外の續騰を示せるも、無頭タラ、チクワ等は出廻り増加し軟弱氣配を辿れり。

十二月

冷凍魚——上旬より、サケを主として八十九噸上場せられ、生物品薄の際とて、賣行比較的良好なりき。

本月に入りても、尙各方面よりの集荷頗る順調にして、一日平均九百七十一噸の多量に達し、本市場開設以來の最高記録を現出せるも、入場者も亦多く、歳末の事とて荷動き活潑となり、加之二十三日皇太子殿下御生誕に依り、買人氣倍加され、活氣ある商状を呈せり。

刺身物——マダロは三陸産を主とし、北海産の入荷杜絶し、これに代りて近海産入荷せるも、最需要期の事とて、旬を追ふて上昇し、昨年同月に比すれば三割方の上昇、カチキも各地産共出

二、入荷状況

期に拘らず、反つて一割内外の低落商状なりき。

當市場に集散せらるゝ魚介類は、北は千島、北海道より、南は九州に至る内地沿岸は勿論、或は朝鮮、臺灣、樺太、關東州等の植民地よりも搬入せられ、尙露領カムサツカ、沿海州及北米合衆國、メキシコ等の外國よりも輸入せらるゝ等、その範圍實に廣汎に亘れり。

昭和八年中の魚荷總數量は二十六萬七千五百五十六噸にして、一日最大入荷の記録は十一月二十三日の市場定休日明けにて千三百八十五噸、同上最少入荷は九月六日の時化後にて三百四十七噸にして、一年一日平均七百六十七噸、前年に比し總數量に於て三萬三千八百噸、一日平均八十七噸の激増を示せり。

入荷は逐年増加しつつあり、是は即ち昨今の中央集荷の傾向を如實に示すものと推察せらる。

之を月別に觀察すれば、一月のみ昨年より幾分減少せるも、殘餘の十一月は全部増加を示せり。

尙これを入荷経路に依り、陸運、海運、生産地自動車直送、冷凍魚介別とすれば、鐵道輸送量は昨年度に比し一萬七千八百

廻薄のため三割乃至一割の高値、其他メバチ、ピンナガ、メカチキ等も上昇商状、メチは近海産の外、常磐、三陸、北陸、能代等の各方面の品を交へ、出廻り豊富なりしも、マダロの高値に伴ひ漸騰し、臺灣産カチキ、キハダも相當多量上場せられしも、刺身物拂底の際とて、比較的高値に取引せられたり。

上物——タヒ類は需要期に拘らず、各地産共入荷減少し、例年の通り上昇商状、關西産レンコタヒも品質不良に拘らず、タヒの上昇に連れ、尙一割内外の昂騰を示せり。

又サワラ、ヒラメ、エビ類も、荷動き活潑にして、漸騰商状なりき。

惣菜物——サバ、スルメイカ、イワシ、サンマ、アチ等は、入荷多量なる上、人氣引立たず何れも安値取引なりしが、ブリ、ワラサ、イナダは、歳末に近づくに従ひ人氣加はり高値に轉じ、其他ムツ、ボラ、キンメ、コハダ、コノシロ、北海産カレヒ類は、比較的人氣良好にして高値取引なりき。

鹽干魚其他——新巻サケは年末必需品なる上、不漁のため著しく高値を豫想せられ、次第に上昇せるも、賣行これに伴はず、尙豫期せる程の昂騰は示さず、數ノ子は品質不良にして例年に比し安値を呈し、スルメも再び漁事活氣を呈するに至り、需要

二十六噸、船舶輸送量は一萬一千五百十三噸、冷凍魚介は九百一噸を夫々増加し、自動車直送のみ二百二噸を減少し、前記の如く總量に於て約一割五分の増加を來せるなり。

而して鐵道便に依る魚荷の増大は、兩國、汐留及隅田川各驛扱の全般に亘る増加に起因す。

次に海運入荷の増加を検するに、入荷隻數に於ては昨年度に比し千三十三隻減の一萬六千九百九十四隻、而して發動機船は著しき減少を示し、反つて入荷の増加せるは、即ち遠距離輸送に多く大型船の利用せられしを語るものなり。

自動車直送に依る魚荷は、千葉縣銚子、竝に片貝を中心とする九十九里沿岸のものを主とし、西は沼津以東、東は水戸以西の魚荷にして、昨年度の一萬五千九百七十六臺の二萬四千二百一噸に對し、本年は一萬五千九百二十八臺の二萬三千八百九十九噸にして、幾分の減少を示せるは、年々増加の傾向あるに對し奇異に感ぜらるゝも、その性質上所謂少量發荷にのみ用ひられ、利用範圍制限せらるゝを以て、一部分の漁況に依りて斯の如き現象は當然生ずべきものと推考せらる。

冷凍魚介の販賣時期は、鮮魚需要期の一月より四月に至る上半期と、十一月、十二月の候にして、過去二ケ年間は鮮魚賣行不

振のため、その量も甚だ少く、稍々悲觀の状態にありしも、本年は鮮魚の入荷著しく増加せしに拘らず、賣行良好にして、従つて冷凍魚も一ケ年二千四百五十二噸上場せられ、前年に比し九百一噸、即ち五割八分の増加を示せり。殊に近來は船内冷凍行はれ、品質も向上せしため、魚類供給の調節、竝に消費經濟上益々重要且つ確固たる地歩を占め、將來は特殊なる地位を確保し、更に發展の餘地あるものと認めらる。

三、入場人員及入車數

買出人を主とする入場人員は、逐年増加の傾向ありしも、本年に於ては八百二十二萬七千餘人を算し、昨年比し十二萬七千二百餘人、一日平均三百二十四人の減少を示せり。

而して入場者は減少せるも、賣行反つて好轉せるは、一見奇なるが如く觀察せらるゝも、この現象は一般市場に對する理解の發達増進を示すは勿論、一方景氣回復と共に、少量購買者即ち棒手の他職に轉じたるもの多く、その結果上述の如き遞減を示せるものと認めらる。

本年に於ける最大入場者は一月三月初荷の三萬四千四百四人、最少は三月二十六日の一萬六千五百七十九人にして、一ケ年を

通じ一日平均二萬三千四百四十人、更に月別に見れば、最も多數の入場者を見たるは十一月の七十五萬五千九百八十餘人、一日平均二萬六千六十八人、最少は二月の五十七萬二千七百餘人、一日平均二萬一千二百十四人なり。

貨物自動車は、本年に於ては三十四萬三千二十臺にして、前年に比し千六百二十六臺を減少し、自轉車も二百十三萬三千二百餘臺にして前年に比し四千四百六十臺を減少し、手車も六萬四百餘臺にして四萬四百九十四臺を激減せり。

自動車、自轉車は逐年増加する傾向ありしも、本年に於ける減少は、買出人の減少に基くものと認めらる。

四、地方出荷狀況

地方出荷と稱するは、一度市場に搬入せられたる魚荷を、取引後碎氷を加へ荷造りの上、之を直接消費地に送るもの及市内各驛より近縣に積出せらるゝもの、總稱にして、此に従事する者は、地方出荷業者竝に發送運送業者の附屬運送業者なり。

而して隅田川驛經由のものは長野、新潟、富山、栃木、宮城、秋田縣を主とし數量千九百三十三噸、上野驛經由のものは上記各地方に急を要するものを仕向け千百十八噸、汐留驛扱は静岡、

愛知を初め阪神地方にまで及び、五百六十二噸にして、比較的少量なり。飯田町、新宿驛經由のものは山梨縣、長野縣南部、岐阜縣一部等にして千八百二十一噸、池袋經由のものは東上線各驛にして千二百六十八噸、淺草驛のものは群馬、栃木、埼玉等の各縣にして九百五十一噸、又消費地直送は埼玉縣本庄、群馬縣高崎、前橋、栃木縣宇都宮、山梨縣上野原等を主とし、遠くも六、七十哩以内の範圍に止まり、この數量二千二百九十餘噸に達せり。

出荷總數量は一萬六千三百三十噸にして、昨年に比し七百十五噸の増加を示せり。

地方出荷數量は輸送方法の簡便化に依り、漁業地より直接消費地に仕向けらるゝ數量逐年増加し、ために漸減の傾向ありしに拘らず、本年の如く反つて増加せるは、農村竝に小都市等、地方消費地の景氣回復に依る購買力の好轉に基く事大なりと推定せらる。

出荷數量と入荷總數量の比較を對照するに、本年は約四分の割合を示せり。

五、冷蔵庫寄託魚介狀況

當冷蔵庫は、中央卸賣市場に於ける取扱品目たる一般腐敗性食料品需給の調節を目的とする貯蔵設備の一にして、日々市場に上場せらるゝ賣残品の貯蔵保管は勿論、生産者及問屋業者等の長期の寄託に利用せらるゝものなり。乍而本年度は中央卸賣市場の業務未だ開始せらるゝに至らざりし爲、寄託物は従前通り魚類に限られ、従つて其の主たる取扱品は鮮魚、鹽干魚及冷凍魚なりき。

本年度小口取扱件数は、四、二二八件にして前年度に比し約二十一割の増加を見たり。然れども冷蔵庫を最も利用すべき盛夏の候、尙ほ本建築工事のため市場との間を路面舗装工事に阻まれ、迂遠にして狭隘、且凹凸甚だしき通路は小揚艇子用手挽小車を困難ならしめ、搬出入の不便甚だしく、ために場外附近の冷蔵庫を利用し僅に散見するの状況にあり、全く小口寄託の機能を發揚し得ざりしは誠に遺憾とする所なり。

反之坪扱使用者は運搬に自動車を使用するため、搬出入に多少の不便は免かれざりしも漸次増加し、本年度取扱件数は一〇八二件にして、前年度に比し約二十割の増加を見たり。この原因と見るべきは、市内冷蔵庫に比して低温にして冷凍魚の保管に適し、且使用料金の低廉なるに加へて、一般業者が冷凍魚に關

する知識の向上と理解とに相俟つて、一種の興味を唆りしに基因し、生産者、問屋業者等の、冷凍魚の保管頼に激増したるによるものなり。

又本市新設備たる冷凍設備の利用は、益々増加の傾向を有し、本年度は二六八件、一九三、一八〇貫二九の多きに上りたり。乍而此等冷凍魚の主たるものは、ピン長、メカチキ、ブリ、メチ等にして、六月より九月頃迄の短期間に多量に漁獲せらるゝ近海産のものなれば、年により豊凶に支配せらるゝを免れざるべし。此等冷凍魚の中、ピン長、メカチキは外國向輸出品にして、其他は關西方面及海産物乏しき山岳地方向又は餌料となるものなり。本市として新しきこの冷凍事業は將來注目し値するところなり。

寄託數量昨年度との比較次の如し。

年別度	件	數	總數	一日平均
昭和七年度	坪扱 三六二件 小口 一、六二二件	計 一、七四三件	四、五四〇・七〇	三五〇・九
昭和八年度	坪扱 一、〇八二件 小口 四、三六六件	計 五、三〇〇件	一八、八二二・六〇	

一日製産二〇〇噸の能力を有する當工場の本年度製氷業績は、盛夏季に於て近年稀なる好天候に恵まれ、十月頃迄は頗る順調

なりしが、十月末に至り、帝都製氷組合の分裂により、市内外製氷業者の自由競争の結果、販賣價格の無統制を生じ、従つて其の影響を受けて、當冷蔵庫の製氷も場内噸當り最低四圓、船積二圓六十錢となり、製産賣拂噸數二五六一噸餘にして、昨年に比し約四五八噸の増加あるも、其の收入に於ては僅かに約九、七二五圓の増加を見るに過ぎず、成績は豫想に反して不振なりき。

第二章 統計

一、入場人員及船車數拾箇年比較

年月日	種別	入場者數		自動車數		自轉車數		手車數		汽船數		船發動機數		小舟數		靜兩其他	
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均
大正十三年	正月	三九,〇〇〇	一,三〇〇	二,一六六	九〇	三,五二〇	一五〇	一,八二〇	八〇	一,三九〇	一〇	二,四〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	二月	四〇,〇〇〇	一,三三三	二,二〇〇	九〇	三,六〇〇	一五〇	一,九〇〇	八〇	一,四〇〇	一〇	二,五〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	三月	四一,〇〇〇	一,三六六	二,二六六	九〇	三,七〇〇	一五〇	一,九六〇	八〇	一,四六〇	一〇	二,六〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	四月	四二,〇〇〇	一,四〇〇	二,三二二	九〇	三,八〇〇	一五〇	二,〇二〇	八〇	一,五二〇	一〇	二,七〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	五月	四三,〇〇〇	一,四三三	二,三七七	九〇	三,九〇〇	一五〇	二,〇八〇	八〇	一,五八〇	一〇	二,八〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	六月	四四,〇〇〇	一,四六六	二,四三三	九〇	四,〇〇〇	一五〇	二,一四〇	八〇	一,六四〇	一〇	二,九〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	七月	四五,〇〇〇	一,五〇〇	二,四八八	九〇	四,一〇〇	一五〇	二,二〇〇	八〇	一,七〇〇	一〇	三,〇〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	合計	三,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	三,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇

年月日	種別	入場者數		自動車數		自轉車數		手車數		汽船數		船發動機數		小舟數		靜兩其他	
		合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均	合計	平均
大正十三年	正月	三九,〇〇〇	一,三〇〇	二,一六六	九〇	三,五二〇	一五〇	一,八二〇	八〇	一,三九〇	一〇	二,四〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	二月	四〇,〇〇〇	一,三三三	二,二〇〇	九〇	三,六〇〇	一五〇	一,九〇〇	八〇	一,四〇〇	一〇	二,五〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	三月	四一,〇〇〇	一,三六六	二,二六六	九〇	三,七〇〇	一五〇	一,九六〇	八〇	一,四六〇	一〇	二,六〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	四月	四二,〇〇〇	一,四〇〇	二,三二二	九〇	三,八〇〇	一五〇	二,〇二〇	八〇	一,五二〇	一〇	二,七〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	五月	四三,〇〇〇	一,四三三	二,三七七	九〇	三,九〇〇	一五〇	二,〇八〇	八〇	一,五八〇	一〇	二,八〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	六月	四四,〇〇〇	一,四六六	二,四三三	九〇	四,〇〇〇	一五〇	二,一四〇	八〇	一,六四〇	一〇	二,九〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	七月	四五,〇〇〇	一,五〇〇	二,四八八	九〇	四,一〇〇	一五〇	二,二〇〇	八〇	一,七〇〇	一〇	三,〇〇〇	二〇	一,〇〇〇	一〇	一,〇〇〇	一〇
大正十三年	合計	三,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇	三,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	三,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇

種別	年月日	陸				海				自動車直送		市内冷蔵 其他冷蔵 魚介
		一ヶ月入荷数量	入一荷日数量平均	貨車數	噸數	隻數	噸數	臺數	噸數			
大正十三年	二月	1,234,567	4,567	1,234	5,678	9,012	3,456	7,890	1,234	5,678	9,012	3,456
	三月	1,345,678	4,678	1,345	5,789	9,123	3,567	7,901	1,345	5,789	9,123	3,567
	四月	1,456,789	4,789	1,456	5,890	9,234	3,678	8,012	1,456	5,890	9,234	3,678
	五月	1,567,890	4,890	1,567	5,901	9,345	3,789	8,123	1,567	5,901	9,345	3,789
	昭和十三年	1,678,901	4,901	1,678	6,012	9,456	3,890	8,234	1,678	6,012	9,456	3,890
大正十三年	二月	1,789,012	5,012	1,789	6,123	9,567	3,901	8,345	1,789	6,123	9,567	3,901
	三月	1,890,123	5,123	1,890	6,234	9,678	4,012	8,456	1,890	6,234	9,678	4,012
	四月	1,901,234	5,234	1,901	6,345	9,789	4,123	8,567	1,901	6,345	9,789	4,123
	五月	1,012,345	5,345	1,012	6,456	9,890	4,234	8,678	1,012	6,456	9,890	4,234
	昭和十三年	1,123,456	5,456	1,123	6,567	9,901	4,345	8,789	1,123	6,567	9,901	4,345

種別	年月日	陸				海				自動車直送		市内冷蔵 其他冷蔵 魚介
		一ヶ月入荷数量	入一荷日数量平均	貨車數	噸數	隻數	噸數	臺數	噸數			
大正十三年	一月	1,234,567	4,567	1,234	5,678	9,012	3,456	7,890	1,234	5,678	9,012	3,456
	二月	1,345,678	4,678	1,345	5,789	9,123	3,567	7,901	1,345	5,789	9,123	3,567
	三月	1,456,789	4,789	1,456	5,890	9,234	3,678	8,012	1,456	5,890	9,234	3,678
	四月	1,567,890	4,890	1,567	5,901	9,345	3,789	8,123	1,567	5,901	9,345	3,789
	昭和十三年	1,678,901	4,901	1,678	6,012	9,456	3,890	8,234	1,678	6,012	9,456	3,890
大正十三年	一月	1,789,012	5,012	1,789	6,123	9,567	3,901	8,345	1,789	6,123	9,567	3,901
	二月	1,890,123	5,123	1,890	6,234	9,678	4,012	8,456	1,890	6,234	9,678	4,012
	三月	1,901,234	5,234	1,901	6,345	9,789	4,123	8,567	1,901	6,345	9,789	4,123
	四月	1,012,345	5,345	1,012	6,456	9,890	4,234	8,678	1,012	6,456	9,890	4,234
	昭和十三年	1,123,456	5,456	1,123	6,567	9,901	4,345	8,789	1,123	6,567	9,901	4,345

二、入荷數量拾箇年比較

備考 一、本市場ノ定休日ハ一月元旦及ビ毎月二十二日トス。但シ昭和二年二月七日ノ大正天皇大喪日、同三年十一月十日御即位式當日、同十二月十三日御大禮東京奉祝會當日、同五年三月二十六日復興祭當日ハ臨時休業セリ。

一、各平均數ハ少數點以下第一位ヲ以テ四捨五入シテ算出ス、但シ平均數ガ單ニ少數ナル時ハ計上セズ。

一、月別一日平均數ハ其月ノ開市日數ヲ以テ算出シ年別一日平均數ハ其一年ヲ通算シタル開市日數ヲ以テ算出ス、但シ大正十三年昭和三年昭和七年ハ開年ナリ。

一、昭和二年以降ニ於テ發動機船並ニ小船ノ激増セルハ魚荷運搬船ノ外、買出船ノ調査ヲ加算セル爲メナリ、自大正十三年至同十五年三ヶ年ハ買出船ノ調査ヲ缺ク。

一、昭和七年一月二日昭和八年一月二日臨時休業セリ。

平均日	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年
陸	1,234,567	1,345,678	1,456,789	1,567,890	1,678,901	1,789,012	1,890,123	1,901,234	1,012,345	1,123,456	1,234,567	1,345,678	1,456,789
海	9,012	9,123	9,234	9,345	9,456	9,567	9,678	9,789	9,890	9,901	9,012	9,123	9,234
自動車直送	3,456	3,567	3,678	3,789	3,890	3,901	4,012	4,123	4,234	4,345	4,456	4,567	4,678
市内冷蔵	5,678	5,789	5,890	5,901	6,012	6,123	6,234	6,345	6,456	6,567	6,678	6,789	6,890
其他冷蔵	7,890	7,901	8,012	8,123	8,234	8,345	8,456	8,567	8,678	8,789	8,890	8,901	9,012
魚介	9,012	9,123	9,234	9,345	9,456	9,567	9,678	9,789	9,890	9,901	9,012	9,123	9,234

同 昭 和 十 五 年 年	同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年	
	八 年	七 年	六 年	五 年	四 年	八 年	七 年	六 年	五 年	四 年	八 年	七 年	六 年	五 年	四 年	十 月	十 月
二 三 一 二 六 九	一 八 七 五 三 〇	一 九 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	二 一 七 五 三 〇	二 二 七 五 三 〇	二 三 七 五 三 〇	二 四 七 五 三 〇	二 五 七 五 三 〇	二 六 七 五 三 〇	二 七 七 五 三 〇	二 八 七 五 三 〇	二 九 七 五 三 〇	三 〇 七 五 三 〇	三 一 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	一 一 八 一 二
二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九

三三三

同 昭 和 十 五 年 年	同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年					同 大 正 十 五 年 年	
	九 月	八 月	七 月	六 月	五 月	九 月	八 月	七 月	六 月	五 月	九 月	八 月	七 月	六 月	五 月	六 月	五 月
二 三 一 二 六 九	一 八 七 五 三 〇	一 九 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	二 一 七 五 三 〇	二 二 七 五 三 〇	二 三 七 五 三 〇	二 四 七 五 三 〇	二 五 七 五 三 〇	二 六 七 五 三 〇	二 七 七 五 三 〇	二 八 七 五 三 〇	二 九 七 五 三 〇	三 〇 七 五 三 〇	三 一 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	二 〇 七 五 三 〇	一 一 八 一 二
二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九	二 三 一 二 六 九

三三三

年 月 別	大正十三年			昭和十三年			大正十三年			昭和十三年			驛名
	三 月	二 月	一 月	三 月	二 月	一 月	三 月	二 月	一 月	三 月	二 月	一 月	
	一四三 一三六 一三三 一三〇	四七 七五 五二 四九 七七 七〇 七二 七五	一〇 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	一四三 一三六 一三三 一三〇	四七 七五 五二 四九 七七 七〇 七二 七五	一〇 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	一四三 一三六 一三三 一三〇	四七 七五 五二 四九 七七 七〇 七二 七五	一〇 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	一四三 一三六 一三三 一三〇	四七 七五 五二 四九 七七 七〇 七二 七五	一〇 一一 一一 一一 一一 一一 一一 一一	銚子
	一八 二二 二七 三八	四 七 九 一〇	一 一 一 一	一八 二二 二七 三八	四 七 九 一〇	一 一 一 一	一八 二二 二七 三八	四 七 九 一〇	一 一 一 一	一八 二二 二七 三八	四 七 九 一〇	一 一 一 一	勝浦
	二九 三〇 三三 三五	一〇 一五 二〇 二五	一 一 一 一	二九 三〇 三三 三五	一〇 一五 二〇 二五	一 一 一 一	二九 三〇 三三 三五	一〇 一五 二〇 二五	一 一 一 一	二九 三〇 三三 三五	一〇 一五 二〇 二五	一 一 一 一	千倉
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	御宿
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	大原
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	八日市場
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	房總各驛
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	合
	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	一〇 一〇 一〇 一〇	計

三五

三、陸運入荷地方別拾箇年比較
(一) 兩國驛

備考
一、本表一箇年合計ノ外四日市組魚市場ヨリ轉送ノモノ約二、三千噸ニ達スル見込ナリ。
一、冷凍魚介ノ調査ハ大正十四年十二月ヨリ始ム。
一、昭和二年自動車直送並ニ各年次ノ冷凍魚介ハ一ヶ月平均及一日平均ヲ算出セズ。
一、昭和七年一月二日昭和八年一月二日臨時休業セリ。

平一 均日	平一 ヶ月			合一 ヶ年					
	同 八 年	同 七 年	同 六 年	同 八 年	同 七 年	同 六 年	同 八 年	同 七 年	同 六 年
七六 七三 七〇 六六 六三 六〇 五六 五三 五〇	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一	四四 四二 四〇 三九 三六 三三 三〇 二七 二四 二一

三四

Table with columns for months (十一月, 十月, 九月, 八月) and years (大正, 和, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十, 十). Rows contain vertical columns of numbers.

Table with columns for months (七月, 六月, 五月, 四月) and years (同, 同, 大, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同, 同). Rows contain vertical columns of numbers.

Table with 16 columns (years: 大正, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和) and 11 rows (stations: 長崎, 下ノ関, 焼津, 清水, 小田原, 沼津, 教賀, 關西各驛, 東海道各驛, 其他, 合計). Data consists of numerical values for each year-station intersection.

(三) 汐留驛

Table for '平均日' (Average Day) with 16 columns (years: 大正, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和) and 11 rows (stations: 長崎, 下ノ関, 焼津, 清水, 小田原, 沼津, 教賀, 關西各驛, 東海道各驛, 其他, 合計). Data consists of numerical values for each year-station intersection.

Table with 16 columns (years: 大正, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和, 昭和) and 11 rows (stations: 長崎, 下ノ関, 焼津, 清水, 小田原, 沼津, 教賀, 關西各驛, 東海道各驛, 其他, 合計). The first two columns are labeled '平均一ケ' and '合計一ケ'. Data consists of numerical values for each year-station intersection.

同和五四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年
九	八	七	六	五	四	三	二	一	一
101 九 10 15 11	八 六 九 0 四 八 1 0 九 六	七 六 八 七 四 三 八 八 0 一 七 七	六 七 八 五 四 三 八 七 六 四 三	五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	二 三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	一 二 三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	101 九 10 15 11

同和五四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年	同和十四年
四	三	二	一	一	一	一	一	一	一
101 九 10 15 11	八 六 九 0 四 八 1 0 九 六	七 六 八 七 四 三 八 八 0 一 七 七	六 七 八 五 四 三 八 七 六 四 三	五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	二 三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	一 二 三 四 五 六 七 八 九 0 一 二 三 四 五	101 九 10 15 11

種別	昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年		昭和十八年		昭和十九年	
	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出
まぐろ	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
びんが	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111
め	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
ち	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
か	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
を	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
さ	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
入庫	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
出庫	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100

種別	昭和十四年		昭和十五年		昭和十六年		昭和十七年		昭和十八年		昭和十九年	
	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出	入	出
まぐろ	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
びんが	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111	10,111
め	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
ち	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100
か	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
を	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
さ	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
入庫	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100
出庫	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100

(七) 冷蔵品種類別入庫数量九箇年比較 (単位貫)

一、入出庫噸數ノ端數ハ四捨五入シテ計上ス。
 一、大正十三、十四兩年ニ於テ出庫噸數ガ入庫噸數ニ超越セル月アルハ前月ヨリノ繰越在庫噸數ヲ計算セザルガ爲メナリ。
 一、昭和三年六月二十五日ヨリ三十日迄ハ機械修理ノ爲メ全部出庫セルニヨリ繰越ナシ。
 一、自大正十三年至昭和二年四ヶ年ノ出庫噸數ハ商號ニ依リテ計算セシガ昭和三年ヨリ取扱件數ニ改メタリ。
 一、昭和六年度ハ十一月二十五日限り一時營業ヲ休止ス。
 一、昭和七年五月二十八日竣工シ七月一日爾來東京市設冷蔵庫使用條例ニ基キ業務開始ス。

昭和十四年	大正十四年	昭和十三年	大正十三年	昭和十二年	大正十二年	昭和十一年	大正十一年	昭和十年	大正十年	昭和九年	大正九年
七			六			五			四		
月			月			月			月		
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00

昭和八年	昭和七年																
	昭和七年	大正十四年	昭和十四年	大正十四年	昭和十三年	大正十三年	昭和十二年	大正十二年	昭和十一年	大正十一年	昭和十年	大正十年					
三	二			一						入	出	入	出				
月	月			月						入	出	入	出				
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00

同 八 年	同 七 年	同 六 年	同 五 年	同 四 年	同 三 年	同 二 年	同 一 年	大正十五年		昭和十四年		同 八 年	同 七 年	同 六 年	同 五 年	同 四 年	同 三 年	同 二 年	同 一 年
								和	平	和	平								
均日	均月	計年																	
11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000	11,170,000

同 四 年	同 三 年	同 二 年	同 一 年	大正十五年		昭和十四年		昭和十三年		同 八 年	同 七 年	同 六 年	同 五 年	同 四 年	同 三 年	同 二 年	同 一 年
				和	平	和	平	和	平								
十二月	十一月	十月	九月	八月													
1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

昭和大正 和十五年 二四年	年月別	種別	平均日				平均月				合計年				
			同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
昭和大正 和十五年 二四年	入	こ	一、五〇〇	一、八〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇
昭和大正 和十五年 二四年	出	は	二、四〇〇	二、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
昭和大正 和十五年 二四年	入	か													
昭和大正 和十五年 二四年	出	ま													
昭和大正 和十五年 二四年	入	あ	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和大正 和十五年 二四年	出	ぢ	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
昭和大正 和十五年 二四年	入	と													
昭和大正 和十五年 二四年	出	び													
昭和大正 和十五年 二四年	入	を													
昭和大正 和十五年 二四年	出	を													
昭和大正 和十五年 二四年	入	い													
昭和大正 和十五年 二四年	出	わ													
昭和大正 和十五年 二四年	入	し													
昭和大正 和十五年 二四年	出	し													

七一

七〇

種別	年月別		昭和十五年		昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年	
	年		年		年		年		年	
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
生	入	庫	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
と	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
に	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
さ	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其ノ他鮮魚	入	庫	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

種別	年月別		昭和十五年		昭和十四年		昭和十三年		昭和十二年	
	年		年		年		年		年	
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
生	入	庫	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
と	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
に	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
さ	入	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其ノ他鮮魚	入	庫	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇	一、二〇〇	〇
	出	庫	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

年	月	種	入		出		種	入		出		年	月	種	入		出		年	月	種	入		出										
			庫	計	庫	計		庫	計	庫	計				庫	計	庫	計				庫	計	庫	計	庫	計							
大正	十	一	八	〇	〇	〇	昭	〇	〇	〇	〇	同	二	一	〇	〇	〇	〇	〇	同	二	〇	〇	〇	〇	〇								
			八	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇					〇	〇	〇	〇				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

年	月	種	入		出		種	入		出		年	月	種	入		出		年	月	種	入		出									
			庫	計	庫	計		庫	計	庫	計				庫	計	庫	計				庫	計										
大正	三	一	〇	〇	〇	〇	昭	〇	〇	〇	〇	同	四	一	〇	〇	〇	〇	〇	同	四	〇	〇	〇	〇	〇							
			〇	〇	〇	〇		〇	〇	〇	〇					〇	〇	〇	〇				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

Table showing monthly supply statistics for various years (e.g., 大正, 昭和, 昭和七, 昭和六, 昭和五, 昭和四, 昭和三, 昭和二, 昭和) with columns for months and sub-months. Includes a summary row for '合計計' and '月平均'.

備考 一、合計及月別に於ケル各品入出庫数量ニ差異アルハ主トシテ繰越ニ原因シツル毎日ノ入出庫一品數百三十五貫以下ニ下リタルモノヲ全部...

冷蔵庫附屬製氷事務逐年供給状況

Table of monthly supply statistics for cold storage facility ice supply, including columns for months (一二月至十二月) and summary rows for '合計計', '月平均', and '日平均'.

製氷事業開始大正十三年八月五日 一、昭和三年六月二十五日ヨリ三十日間機械修理ノ爲休止 二、昭和三年六月二十五日ヨリ三十日間冷蔵庫機械修理ノ爲休止 三、昭和六年十月二十五日ヨリ翌七年五月六日迄冷蔵庫ト共ニ製氷場改築ノ爲休止

本年中製氷供給状況詳細

Detailed table of ice supply statistics categorized by '種別' (ice types) and months, with columns for specific ice types, months, and summary rows for '合計' and '平均'.

押扱件数

Table showing the number of '押扱件数' (pushed items) over time, with columns for months from 昭和八年一月 to 十二月, and summary rows for '合計' and '月平均'.

八 年 品 名	八 年 品 名											
	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均
冷 凍 イ カ	一 九 〇 六 三	四 五 七 八 九	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二	一 五 〇 〇 三	二 一 七 七 九	三 九 三 七 一	三 七 七 〇 九	三 三 七 九 一	三 三 七 九 一	五 七 三 〇 四	一 九 〇 六 三
冷 凍 れ ん こ	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二	一 五 〇 〇 三	二 一 七 七 九	三 九 三 七 一	三 七 七 〇 九	三 三 七 九 一	三 三 七 九 一	五 七 三 〇 四	一 九 〇 六 三	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二
冷 カ ジ キ	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二	一 五 〇 〇 三	二 一 七 七 九	三 九 三 七 一	三 七 七 〇 九	三 三 七 九 一	三 三 七 九 一	五 七 三 〇 四	一 九 〇 六 三	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二
冷 ビ ン 長	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二	一 五 〇 〇 三	二 一 七 七 九	三 九 三 七 一	三 七 七 〇 九	三 三 七 九 一	三 三 七 九 一	五 七 三 〇 四	一 九 〇 六 三	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二
冷 サ ケ	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二	一 五 〇 〇 三	二 一 七 七 九	三 九 三 七 一	三 七 七 〇 九	三 三 七 九 一	三 三 七 九 一	五 七 三 〇 四	一 九 〇 六 三	二 一 四 〇 四	一 六 七 〇 二

八 年 品 名	八 年 品 名											
	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均	一 月 平 均
か じ き	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九	九 二 〇 八	九 九 〇 二	一 九 六 〇 三	一 四 九 〇 六	二 一 五 〇 九	三 七 七 〇 三	八 七 〇 三	九 〇 〇 七	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九
れ ん こ	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九	九 二 〇 八	九 九 〇 二	一 九 六 〇 三	一 四 九 〇 六	二 一 五 〇 九	三 七 七 〇 三	八 七 〇 三	九 〇 〇 七	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九
冷 凍 プ リ	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九	九 二 〇 八	九 九 〇 二	一 九 六 〇 三	一 四 九 〇 六	二 一 五 〇 九	三 七 七 〇 三	八 七 〇 三	九 〇 〇 七	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九
冷 凍 エ ビ	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九	九 二 〇 八	九 九 〇 二	一 九 六 〇 三	一 四 九 〇 六	二 一 五 〇 九	三 七 七 〇 三	八 七 〇 三	九 〇 〇 七	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九
冷 凍 メ ジ	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九	九 二 〇 八	九 九 〇 二	一 九 六 〇 三	一 四 九 〇 六	二 一 五 〇 九	三 七 七 〇 三	八 七 〇 三	九 〇 〇 七	一 八 六 〇 〇	一 七 八 〇 九

昭和八年年度冷凍取扱数量表

品別	月別											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	平均
めかじき												三三、一四五〇・七
ぶり												三三、一四五〇・七
びん長												三三、一四五〇・七
めじ												三三、一四五〇・七
えび												三三、一四五〇・七
たこ												三三、一四五〇・七
いか												三三、一四五〇・七
かつを												三三、一四五〇・七
さば												三三、一四五〇・七
あぢ												三三、一四五〇・七
さけ												三三、一四五〇・七
さめ												三三、一四五〇・七
雑												三三、一四五〇・七
合計												三三、一四五〇・七
件数												三三、一四五〇・七

九、鮮魚介相場十箇年比較

備考(魚名別上段ハ高値下段ハ低値トス以下同ジ、平均魚價ハ便宜上各月ニ於ケル高値低値ヲ各別ニ合計シ其ノ月日ニテ除シ四捨五入セリ)

年 月 別	名															
	まぐろ	きはだ	めばち	なび	がん	めぢ	ちま	きか	ぢめ	きか	さあ	めを	さほ	めし	大たひ	中たひ
昭和十三年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十二年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十一年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和九年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和八年一月	六六三〇	四五〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇

(一) 近海物 (其二) (十買建單位圓)

年 月 別	名															
	まぐろ	きはだ	めばち	なび	がん	めぢ	ちま	きか	ぢめ	きか	さあ	めを	さほ	めし	大たひ	中たひ
昭和十三年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十二年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十一年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和十年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和九年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇
昭和八年四月	五五七五	四〇〇〇	一七〇〇	四六〇〇	二九〇〇	三三〇〇	七六〇〇	六五〇〇	三三〇〇	三二〇〇	二二〇〇	二一〇〇	一〇〇〇	八七〇〇	六七〇〇	九二〇〇

Calendar for December 1943 (昭和十八年十二月), November 1943 (昭和十八年十一月), October 1943 (昭和十八年十月), and September 1943 (昭和十八年九月). Includes traditional Chinese text and a grid of numbers.

九五

Calendar for August 1943 (昭和十八年八月), July 1943 (昭和十八年七月), June 1943 (昭和十八年六月), and May 1943 (昭和十八年五月). Includes traditional Chinese text and a grid of numbers.

九四

昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年
六	五	四	三	二	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
...

昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年
二	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
...

近海物 (其二) (十貫建單位圓)

魚平	價均	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	昭和元年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年
...

魚平 價均	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大
	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年
	年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年
	十二月	十一月	十月
五〇六四三四二九九七三	五三四九六九五三三三二七	四四四三六九四八三二六一	四六六九六六〇二八
三三二六三二二二二二〇六	三三二六〇三二九八四四二	二六二九二二二五二四二〇五	二七六二八九三
八四四四四四四四四四八	八六四三八四六五四四四三	〇六四四九一〇一三〇〇八	五三九六六九六
〇三四三六〇六六六六五七	八三四三三二一四三六八三	二九三三三七三三三三三三六	五三三三三七三三
五三七	五五	四八五	四
四四六	四四七	四四四	三七
九一〇一〇九二二一七三二〇八	八八六八六八二二二二〇三	八九一〇三九四二二二一〇一	八二〇二九七二一六
七七六六七六六六四五六	〇七七八六八七〇九八五九三	六六七七五三三三六〇三	〇七四五四八〇
六七七五五七七八五七	六六九 六八	六六六 五六五	六七八 七七
四四四四四四四四四	四五〇 四四	四四四 三三	四四六 四四〇
二二二二二二二二二二二	二七 二八	二二	〇
二二二二二二二二二二二	二二 二二	二二	二
二二六四二九	二二一七 一九	二二〇四 一九	二〇
二二二二	二二二二	二二二二	二二
四四四四四四四四四	四一六四六六六七八八三	三四四四四四四四六六五	四四一四四四四
三三五四四四四四四	四七 〇三七三三六六六	三三五三三三三三三三三	三四一七八〇六
六三三三三三三三三三三	九四三三三三三三三三三	六三三三三三三三三三三	四三三四四四四
〇三三三三三三三三三三	三三三三三三三三三三三	〇三三三三三三三三三三	三三三三三三三
七五 九九九五 五	二七 四八三	二五 六二	三二 三三
二八 三三二八 九	二二 七〇九	〇九 二六	二七 二〇
二〇〇二二二二二二二	四三 三三三三三三	一九三 三三	一九 〇二
七六七八八三〇三二	九八 八三三三	二七 八八	六 八 四
六四六六八〇三六八〇	〇 三四	一六 一五	一七 一四
二二二二二二二二二二二	〇 三	一四 一四	二 三

昭同同大 和十十 二五四年	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大	同同同同同昭同同大
	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年	八七六五四三和二五四年
	年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年	年年年年年年年年年年年年
	九月	八月	七月		
三九七三〇	四〇四四四四〇三三二八	四九九五五二二七六	四九九六〇九 一三三九	九九二二	九九二二
三三三三三	〇三九九三三五三〇	〇三三二八二五三二二	九九一〇四九 〇四九五	二二八三	二二八三
四四四九九	五六九九三八四四八四七	五三三三三三三三三三三	四九九二六三六三三三八〇	三四三三	三四三三
三三三七	九九三七三三三三三三三	三七二六四三三三三三三	三三二六九八八〇三九一	二二二九	二二二九
四	九	六	〇	〇	〇
三	四	四	三	三	三
一三一〇一〇九二二一七三二〇八	八八六八六八二二二二〇三	八九一〇三九四二二二一〇一	八二〇二九七二一六	一三三三	一三三三
六七六六七六六六四五六	〇七七八六八七〇九八五九三	六六七七五三三三六〇三	〇七四五四八〇	六六五七	六六五七
六七七五五七七八五七	六六九 六八	六六六 五六五	六七八 七七	六六三	六六三
四四四四四四四四四	四五〇 四四	四四四 三三	四四六 四四〇	六六五	六六五
二二二二二二二二二二二	二七 二八	二二	〇	二二九	二二九
二二二二二二二二二二二	二二 二二	二二	二	二二二	二二二
二二六四二九	二二一七 一九	二二〇四 一九	二〇	二二二	二二二
二二二二	二二二二	二二二二	二二	二二二	二二二
四四四四四四四四四	四一六四六六六七八八三	三四四四四四四四六六五	四四一四四四四	二二二	二二二
三三五四四四四四四	四七 〇三七三三六六六	三三五三三三三三三三三	三四一七八〇六	二二二	二二二
六三三三三三三三三三三	九四三三三三三三三三三	六三三三三三三三三三三	四三三四四四四	二二二	二二二
〇三三三三三三三三三三	三三三三三三三三三三三	〇三三三三三三三三三三	三三三三三三三	二二二	二二二
七五 九九九五 五	二七 四八三	二五 六二	三二 三三	二二二	二二二
二八 三三二八 九	二二 七〇九	〇九 二六	二七 二〇	二二二	二二二
二〇〇二二二二二二二	四三 三三三三三三	一九三 三三	一九 〇二	二二二	二二二
七六七八八三〇三二	九八 八三三三	二七 八八	六 八 四	二二二	二二二
六四六六八〇三六八〇	〇 三四	一六 一五	一七 一四	二二二	二二二
二二二二二二二二二二二	〇 三	一四 一四	二 三	二二二	二二二
二二二二二二二二二二二	〇 三	一四 一四	二 三	二二二	二二二

近海物 (其三) (十貫建單位圓)

年 月 別	大正十三年				大正十二年				大正十一年				大正十年				魚名
	三	二	一	一	三	二	一	一	三	二	一	一	三	二	一	一	
が	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	が
つ	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	つ
を	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	を
だ	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	だ
ぶ	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	ぶ
り	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	り
わ	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	わ
ら	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	ら
さ	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	さ
い	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	い
な	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	な
だ	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	だ
き	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	き
ん	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	ん
め	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	め
あ	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	あ
か	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	か
う	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	う
ひ	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	ひ
す	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	す
ず	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	ず
ぎ	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	ぎ
む	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	む
つ	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	つ
ほ	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	ほ
ら	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	ら
い	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	い
き	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	き
う	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	う
た	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	た
を	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	を
ち	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	ち
さ	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	さ
ば	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	ば

101

100

Table with columns for year (大正, 昭和), month (一月 to 十二月), and fish names (いす, かみ, いや, かり, 生たこ, たゆ, こで, くるま, まき, きい, えし, びば, えぼたん, びん, ふしきりまめ, 大あぢ, あぢ(中), あぢ(小)).

近海物 (其四) (十貫建單位圓) (一尾建單位錢)

Main table for fish prices, organized by month (十一月, 十月, 九月, 八月) and fish type (魚平, 昭八). Includes columns for price in units of 1000 and 100.

Main table for fish prices, organized by month (十一月, 十月, 九月, 八月) and fish type (昭八, 大正, 昭和, 和). Includes columns for price in units of 1000 and 100.

年 月 別	大正十三年		昭和十三年		魚 名
	二 月	一 月	一 月	二 月	
うと					魚
をび					
とび(小)					
をあか					
かます					
きす					
さより					
さんま					
いわし					
しこ					
ろの					
こはだ					
一節二付					
二節二付					

近海物 (其五) (一尾建單位錢)

一〇七

年 月 別	大正十三年		昭和十三年		魚 名
魚 平 價 均	一 月	二 月	一 月	二 月	
うと					魚
をび					
とび(小)					
をあか					
かます					
きす					
さより					
さんま					
いわし					
しこ					
ろの					
こはだ					
一節二付					
二節二付					

年 月 別	大正十三年		昭和十三年		魚 名
	九 月	十 月	十 月	十 月	
うと					魚
をび					
とび(小)					
をあか					
かます					
きす					
さより					
さんま					
いわし					
しこ					
ろの					
こはだ					
一節二付					
二節二付					

一〇六

近海物

(其六) (一尾建單位錢)

年 月 別	大正			昭和			昭和			昭和		
	十三年	十四年	十五年	十四年	十五年	十六年	十四年	十五年	十六年	十四年	十五年	十六年
三月	三 五 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
二月	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
一月	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
魚名	[魚名欄]											

魚 平 價 均	大正			昭和			昭和			昭和		
	十三年	十四年	十五年	十四年	十五年	十六年	十四年	十五年	十六年	十四年	十五年	十六年
十二月	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
十一月	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
十月	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇	三 三 〇 〇
魚名	[魚名欄]											

大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年	大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年	大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年	大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年
6月	5月	4月	3月
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169
169	169	169	169

大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年	大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月
2月	1月

大正十四年 昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年 昭和十一年 昭和十年 昭和九年 昭和八年 昭和七年 昭和六年
魚平
價均
同同同同同昭同同大
八七六五四三和十正
年年年年年年年年年
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170
170

(三) 關西物 (其十貫建單位圓)

一九

一八

關西物 (其二) (十貫建單位圓)

Table with columns for month/year (年別), fish names (魚名), and prices (十貫建單位圓). Rows include items like ぶり, さわら, ひらめ, etc.

1111

Table with columns for month/year (年別), fish names (魚名), and prices (十貫建單位圓). Rows include items like ぶり, さわら, ひらめ, etc.

1111

年別		魚名	魚平 價均
昭和十三年	昭和十四年		
同	同	ちまき	八七六五四三
八	七		
同	同	きか	三二七六五
七	六		
同	同	ちめ	五五六七
六	五		
同	同	かき	四三九一
五	四		
同	同	まぐろ	九八七六
四	三		
同	同	めばち	七六五
三	二		
同	同	め	九八七
二	一		
同	同	ち	七六五
一	〇		
同	同	さねみ	四三二
〇	九		
同	同	めみ	六五三
九	八		
同	同	大たひ	八七六
八	七		
同	同	ぬらめ	五五四
七	六		
同	同	めぬき	六八七
六	五		
同	同	ぶり	七六五
五	四		
同	同	わらさ	八七六
四	三		
同	同	いなだ	九八七
三	二		

(四) 三 陸 物 (其一) (十貫建單位圓)

年別		魚名	魚平 價均
昭和十三年	昭和十四年		
同	同	ちまき	八七六五四三
八	七		
同	同	きか	三二七六五
七	六		
同	同	ちめ	五五六七
六	五		
同	同	かき	四三九一
五	四		
同	同	まぐろ	九八七六
四	三		
同	同	めばち	七六五
三	二		
同	同	め	九八七
二	一		
同	同	ち	七六五
一	〇		
同	同	さねみ	四三二
〇	九		
同	同	めみ	六五三
九	八		
同	同	大たひ	八七六
八	七		
同	同	ぬらめ	五五四
七	六		
同	同	めぬき	六八七
六	五		
同	同	ぶり	七六五
五	四		
同	同	わらさ	八七六
四	三		
同	同	いなだ	九八七
三	二		

Table with 4 main columns and 10 sub-columns. Headers include '昭和八年' and '大正' with various dates. The table contains multiple rows of numbers and symbols arranged in a grid.

111

Table with 4 main columns and 10 sub-columns. Headers include '昭和八年' and '大正' with various dates. The table contains multiple rows of numbers and symbols arranged in a grid.

110

(六) 冷凍魚 (十貫建單位圓) (一尾建單位錢)

一四四

年 月 別	昭和十三年			昭和十四年			昭和十五年			名
	三 月	二 月	一 月	三 月	二 月	一 月	三 月	二 月	一 月	
かぢき	一五九	一五	四六	二六	二六	二六	四			円
さげ	一〇七〇	九四八	八七〇	八〇九	八〇	八〇	四			円
ます	五七六	五二〇	五七六	五七六	五七六	五七六	四			円
さば	六八七	五七二	五七二	五七二	五七二	五七二	円			円
米國えび	六六〇	六六〇	六六〇	六六〇	六六〇	六六〇	円			円
とびうを	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	円			円
さんま	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	一三二	円			円
にしん	一三	一三	一三	一三	一三	一三	円			円
いか	八七	七六	五七	六六	六六	六六	円			円
ぶり	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	円			円

年 月 別	昭和十三年			昭和十四年			昭和十五年			
	七 月	六 月	五 月	七 月	六 月	五 月	七 月	六 月	五 月	
かぢき										円
さげ	八	八	八	八	八	八	円			円
ます	七	七	七	七	七	七	円			円
さば							円			円
米國えび	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	六五〇	円			円
とびうを	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	五五〇	円			円
さんま							円			円
にしん							円			円
いか	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	円			円
ぶり	六	六	六	六	六	六	円			円

一四五

同大 正 十 三 年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭 八七六五四三和 年年年年年年年
八		七		五
月		月		月
五五 五〇	二二二二三三四四五 七〇四二三五六〇五〇	二一二二三三四四五 八八四二〇五七〇五七	二一二二三三四四五 三一二二五〇三五〇五〇	一一二二三 八〇三四九〇
四〇	二一二二三三四四五 五八二〇〇一一五〇	二一二二三三四四五 五六一〇〇〇三五〇	二一二二三三四四五 〇六〇二〇〇五〇	一一二二三 六六〇二八
三〇	八五六六〇一九八二 二五〇〇〇〇〇〇五〇	七五六七九八八七二 三七〇〇〇〇〇〇一〇	六四七七八八八六〇 五五〇〇〇〇五五〇〇	六五八八八 五〇八〇一
二〇	四三五四七七八七九 三〇〇〇〇七〇〇五五	三三五四七七七六九 四一〇〇〇五〇〇五五	二三五五七六六六 五〇〇八〇〇〇〇	二三七七五 五〇〇〇
一〇	四三三四七七八七七 三三九六七七〇〇〇	四三三四六九六七六 四七〇〇〇八五五〇八〇	三二四五六七五七七 六五〇五七五〇四〇五	三三五七七 六二二〇一
〇	三二三四七六六六五 七六三三二六〇五六	三二三四七六六六五 七五四〇一〇三〇五五	三二三四六六六六 一三三七四〇〇三〇	三二四六五 〇六〇〇五
九	三三三四四五四三 九〇二八六〇三九八	四三三四四五四三 〇一五九三三〇八三五	四三三四四五四三 五五九〇八三〇四二〇	三三三四三 一五二七〇
八	二一二二三三四三 四八五四三〇六七〇	二一二二三三四三 一〇九四二二〇七〇	二一二二三三四三 七五八七六三三三三	一一二二三 七二二五〇
七	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三 〇〇二八六
六	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二 一五五二四
五	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一 五〇〇〇〇
四	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇
三	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇
二	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇
一	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇

昭同同大 和十十 二五四三 年年年年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭同同大 八七六五四三和十十 年年年年年年年年年	同同同同同昭 八七六五四三和 年年年年年年年
四		三		二
月		月		月
三三 五五	一一二二三三四五 八八一三五八三五〇	一一二二三三四五 七六八五五五〇五〇	一一二二三三四五 七五六四四四〇五六	一一二三四 七五六三
二〇	一一二二三三四五 六五八二二三八〇	一一二二三三四五 五三六一三三三三〇	一一二二三三四五 五二九九二一五五	一一二三四 五二三八
一〇	八七八八九〇九〇 五〇〇〇五〇〇〇〇	八七八七〇三九〇 五〇五八〇〇〇〇〇	八七六七〇〇九〇七 五〇九〇〇四〇〇〇五	八七五七 五〇〇〇
〇	四三七六三六七八 五五〇〇〇五五五	五三七七六七七七八 五五五三四二五五	三三四六六七七八六 五五九五五七五五〇	三三三六 五五五
九	三三六六七六六 六七〇七七八四二	三三四六六七六六 五七五〇五八三三	三三四五六六七六 五七六八五三三五	三三三五 二七八四
八	二二五六五五六五 八七〇一五四九七	二二四五五五六六 九七五六六五八〇	二二三五五六六六 九七六四八八〇〇	二二三五 九七三一
七	三三三四四三四三 〇五五七三三九九	三三四四四四四三 〇五五五三三三八	三三四四四四四三 〇五五〇三三三八	三三三四 二五七
六	二二二三三三四三 〇〇五〇一〇五三	二二二三三三四三 〇〇五〇一〇五三	二二二三三三四三 〇〇五〇一〇五三	二二三三 〇〇七
五	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三二五〇三 〇〇二二二五〇三	四〇二二三 〇〇二八六
四	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二二二二 一五五五五三三三三	三七一八二 一五五二四
三	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	二〇九九一 五〇〇〇〇
二	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇
一	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一九〇九 五〇〇〇〇七〇〇〇	〇九九一 五〇〇〇〇

鹽 乾 魚 (其二) (十貫建單位圓)

Table with columns for year (年), month (月), and various fish categories (e.g., 身欠, 内地産, たら子, 一本に付わ, 冷蔵新, カムサツカ産, カムサツカ産). Rows represent different years and months, with numerical data points for each category.

Table with columns for year (年), month (月), and various fish categories (e.g., 魚平, 同同同同同昭同同大, 同同同同同昭同同大, 同同同同同昭同同大). Rows represent different years and months, with numerical data points for each category.

同同同同昭同同大				同同同同昭同同大				同同同同昭同同大				同同同同昭同同大			
和正				和正				和正				和正			
七六五四三				八七六五四三				八七六五四三				八七六五四三			
年年年年				年年年年				年年年年				年年年年			
十一月				十月				九月				八月			
七	五	三	一	七	四	二	一	七	二	一	一	六	四	二	一
六	五	三	一	六	四	二	一	六	四	二	一	六	五	四	三
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇	六	三	三	〇	九	三	三	〇	八	三	三	〇	六	三	三
三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三
三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三
〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇
〇	五	七	六	〇	六	七	六	〇	七	八	〇	〇	四	〇	〇
二	二	三	四	三	三	四	四	三	二	三	五	三	二	三	三
八	六	三	〇	三	三	三	八	〇	三	七	〇	三	二	三	三
二	一	二	三	二	二	三	三	〇	二	三	四	二	一	二	三
一	五	八	三	三	五	〇	三	〇	二	三	四	二	一	二	三
二	一	〇	七	三	一	八	二	一	一	一	一	二	一	二	三
二	一	〇	七	三	一	八	二	一	一	一	一	二	一	二	三
〇	九	八	三	三	〇	九	二	二	二	二	二	〇	九	八	二
九	八	六	二	二	九	六	〇	二	八	八	二	八	八	九	九
六	五	八	六	六	九	六	〇	六	九	六	六	六	九	六	六
六	七	五	五	九	六	七	八	九	五	六	八	四	五	五	五

同同同同昭同同大				同同同同昭同同大				同同同同昭同同大				同同同同昭同同大			
和正				和正				和正				和正			
八七六五四三				八七六五四三				八七六五四三				八七六五四三			
年年年年				年年年年				年年年年				年年年年			
七月				六月				五月				四月			
八	六	四	二	八	七	四	三	〇	八	三	二	八	七	四	三
六	五	三	一	六	六	三	二	八	七	二	一	二	八	一	一
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇	六	三	三	〇	六	三	三	〇	六	三	三	〇	六	三	三
三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三
三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三	三	二	三	三
〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇	〇
〇	五	七	六	〇	六	七	六	〇	六	七	六	〇	四	〇	〇
二	二	三	四	二	二	三	三	二	二	三	三	二	二	三	三
八	六	三	〇	三	三	三	八	〇	三	七	〇	三	二	三	三
二	一	二	三	二	二	三	三	〇	二	三	四	二	一	二	三
一	五	八	三	三	五	〇	三	〇	二	三	四	二	一	二	三
二	一	〇	七	三	一	八	二	一	一	一	一	二	一	二	三
二	一	〇	七	三	一	八	二	一	一	一	一	二	一	二	三
〇	九	八	三	三	〇	九	二	二	二	二	二	〇	九	八	二
九	八	六	二	二	九	六	〇	二	八	八	二	八	八	九	九
六	五	八	六	六	九	六	〇	六	九	六	六	六	九	六	六
六	七	五	五	九	六	七	八	九	五	六	八	四	五	五	五

附 錄

汚物搬出數量九箇年比較

年 月 別	種 別		
	塵	芥	魚 腸 骨
大正十四年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正九年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正八年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正七年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正六年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正五年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正四年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和九年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和八年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計

魚 平 價 均	種 別		
	塵	芥	魚 腸 骨
大正十四年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正十年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正九年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正八年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正七年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正六年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正五年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正四年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
大正一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十三年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十二年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十一年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和十年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和九年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計
昭和八年	一ヶ月合計	一日平均	一ヶ月合計

奈良縣

魚

名

米 貯 係 名 國

冷 凍 え び

名

府縣別産出魚類品名表

(當市場ニ入荷スルモノヲ主トシ 數量ノ少キモノハ除ク)

備考	平一	平一	合	昭	
	均日	ケ均月	ケ計年	和同同同	
	同同同同同昭同大	同同同同同昭同大	同同同同同昭同大	同同同同和	
	八七六五四三二	八七六五四三二	八七六五四三二	八七六五四	
	年年年年年年年	年年年年年年年	年年年年年年年	年年年年年	
	正和十四	正和十四	正和十四	昭和四年	
	十二月				
		一五八、五〇〇 一六七、〇四三 一八七、九二二 二二二、五三六 二二二、五三七 二四一、〇〇五 一八〇、七八〇 一六七、九〇四	二、〇一四、八四七 二、一六九、三三七 二、二八八、〇六七 二、七七七、〇七〇 二、七三三、九〇〇 二、五六一、三二〇 二、二七九、九四〇 二、〇〇〇、〇〇〇 一、九〇四、〇〇〇	二、九九五、五〇〇 三、九一四、〇〇〇 三、三九一、三三〇 三、三三〇、八三〇 二、〇四三、四三三	九、八五一 九、七二三 一〇、九七八 六、六二六
	五、七四〇 五、八三四 八、一八九 七、七八八 七、七五〇 七、三〇〇 六、四九三 五、四〇九				
		四、一八七 四、二二二 五、三三一 五、三三一 六、七二一 六、八四八 七、七六四 六、三〇六 六、三〇六 六、五二五	七、三六三、〇〇〇 七、六〇〇、〇〇〇 七、四〇〇、〇〇〇 九、三〇一、六八〇 一、〇三三、八八〇 八、〇七三、一三三 六、三三九、八五三 六、〇三二、七九一 五、〇一、八〇〇	四、九七三、〇〇〇 六、五〇〇、〇〇〇 六、三二二、〇〇〇 六、〇〇〇、〇〇〇	
	二、〇八九 二、三九〇 二、六五一 二、九五一 二、〇〇〇 一、八二三 一、七二三 一、三六三			一、六五六 一、一八一 一、〇三七 一、〇三六 一、九六五	
		一、五八七 一、五三一 一、五三七 一、七七一 一、七八一 一、八八一 一、七七一 一、七七一	二、四七九、六 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇 二、二二〇、〇	二、一三三 二、一三三 二、一三三 二、一三三 二、一三三 二、一三三 二、一三三 二、一三三	
	七、八三三 七、六六六 六、六六六 六、六六六 五、五五五 五、五五五 四、四四四			八、七三三 七、七三三 七、七三三 七、七三三	
		四、四四四 四、四四四 四、四四四 六、六六六 八、八八八 八、八八八 七、七七七 七、七〇〇	五、五五五、七七一 五、五五五、七七一 五、五五五、七七一 一、〇〇〇、〇〇〇 八、八八八、五三四 八、九三三、六 二、〇〇〇、〇〇〇 二、〇〇〇、〇〇〇	四、四四四、七九九 四、四四四、七九九 四、四四四、七九九 四、四四四、七九九 四、四四四、七九九 四、四四四、七九九 四、四四四、七九九	

備考 一、大正十三年ハ各欄、同十四年ハ汚泥調査ヲ缺ク。

重要魚類卸賣相場指數表

産地	魚名	昭和										産地	魚名	昭和									
		十三年	十四年	十五年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年			十三年	十四年	十五年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年
近海産	まぐろ	100	91	78	89	81	79	73	76	53	68	關西産	まかぢき	100	92	82	87	81	74	74	70	35	73
	まかぢき	100	97	88	87	88	84	70	62	55	87		まぐろ	100	78	70	65	70	59	55	51	51	58
	きはだ	100	95	90	100	96	69	59	59	38	84		びんなが	100	90	64	73	79	64	44	—	—	—
	めぢ	100	97	86	82	70	70	58	54	54	68		またひ	100	89	85	93	97	114	109	86	103	112
	かつを	100	94	87	68	64	70	55	52	47	57		れんこたひ	100	93	103	128	125	128	148	150	133	155
	そらだかつを	100	93	89	71	86	76	48	—	39	47		あぢ	100	96	88	80	84	76	68	60	54	62
	ぶり	100	91	74	79	81	81	72	58	47	55		さば	100	94	89	73	73	83	61	44	50	52
	またひ	100	94	90	88	91	97	90	97	104	113		ぶり	100	92	70	70	84	76	62	75	54	69
	まこたひ	100	92	101	86	88	93	82	82	80	97		さわら	100	75	78	119	136	105	113	110	91	106
	はなたひ	100	91	93	94	94	99	91	89	93	115		ひらめ	100	100	97	107	107	114	110	110	89	93
	さわら	100	98	97	88	94	87	68	76	70	65		くまえび	100	113	102	112	106	110	70	67	65	75
	むつ	100	115	95	90	95	80	65	55	65	90		すえび	100	110	110	110	108	99	78	68	67	73
	ぼら	100	95	68	66	84	68	68	63	53	54		くまえび	100	115	114	108	114	113	88	77	76	84
	すゞき	100	86	83	85	86	83	83	63	73	61		まぐろ	100	92	72	80	93	70	57	55	64	73
	ひらめ	100	97	102	103	107	109	96	85	85	99		めぢ	100	96	77	65	65	77	58	40	42	64
	いさき	100	87	88	85	75	92	65	65	50	58		ばらめぬき	100	94	81	81	81	69	62	54	43	53
	さば	100	93	93	88	85	85	65	69	61	58		ぶり	100	92	79	97	92	95	81	60	70	67
	ゆでだこ	100	92	81	75	83	73	58	47	43	58		かつを	100	94	85	71	79	68	42	42	37	63
	くまえび	100	109	112	109	109	98	84	93	90	92		ひらめ	100	100	98	94	94	110	75	68	68	88
しばえび	100	184	207	218	246	120	76	135	88	68	すゞき	100	98	98	93	102	95	85	67	72	75		
こはだ	100	100	97	105	89	74	58	45	48	47	大ぎす	100	76	72	62	62	62	59	47	30	32		
きす	100	97	119	121	108	110	92	129	142	124	さんま	100	77	100	129	110	119	91	70	80	84		
さより	100	87	101	96	108	122	138	133	160	164	まぐろ	100	108	62	62	63	43	43	37	45	48		
大あぢ	100	109	117	109	109	107	101	88	73	76	まがれひ	100	95	95	90	95	100	81	75	72	83		
いわし	100	105	80	90	90	80	60	35	35	45	ます	100	100	77	91	91	68	72	66	70	91		
さんま	100	82	86	94	70	88	70	85	70	62	さけ	100	114	100	100	121	96	79	66	63	93		
											平均	100	97	91	92	94	88	75	72	67	77		

東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖

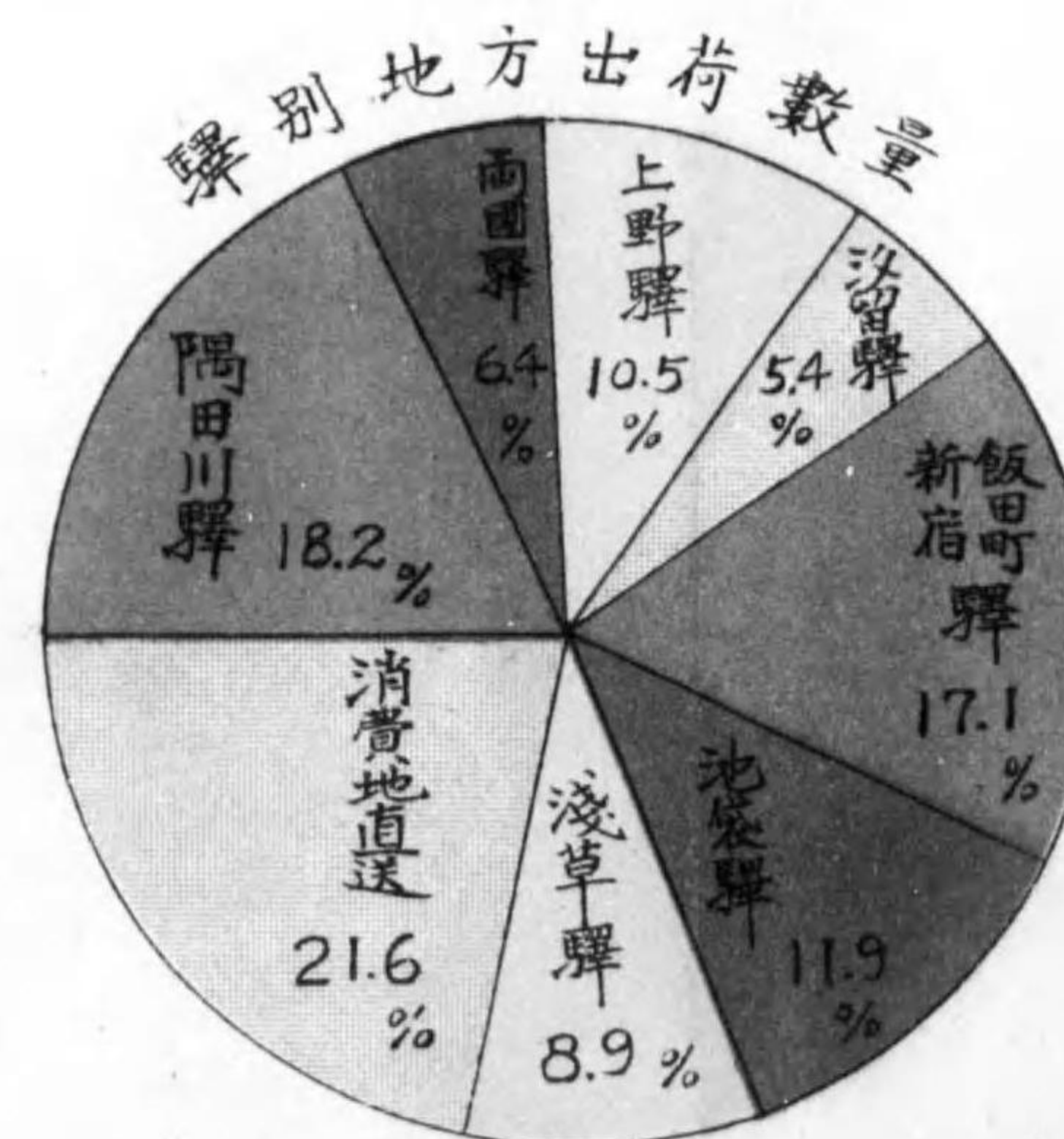
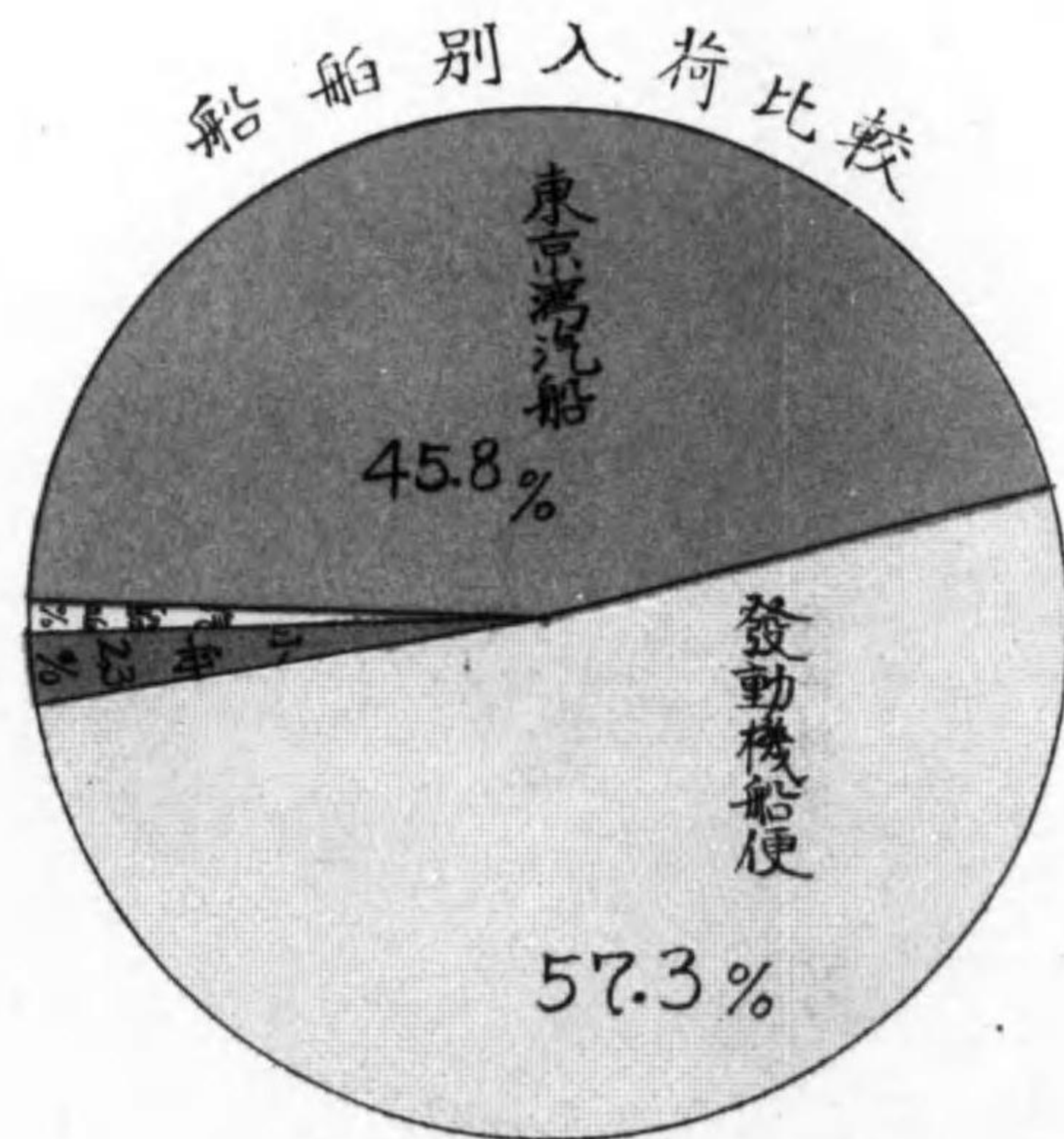
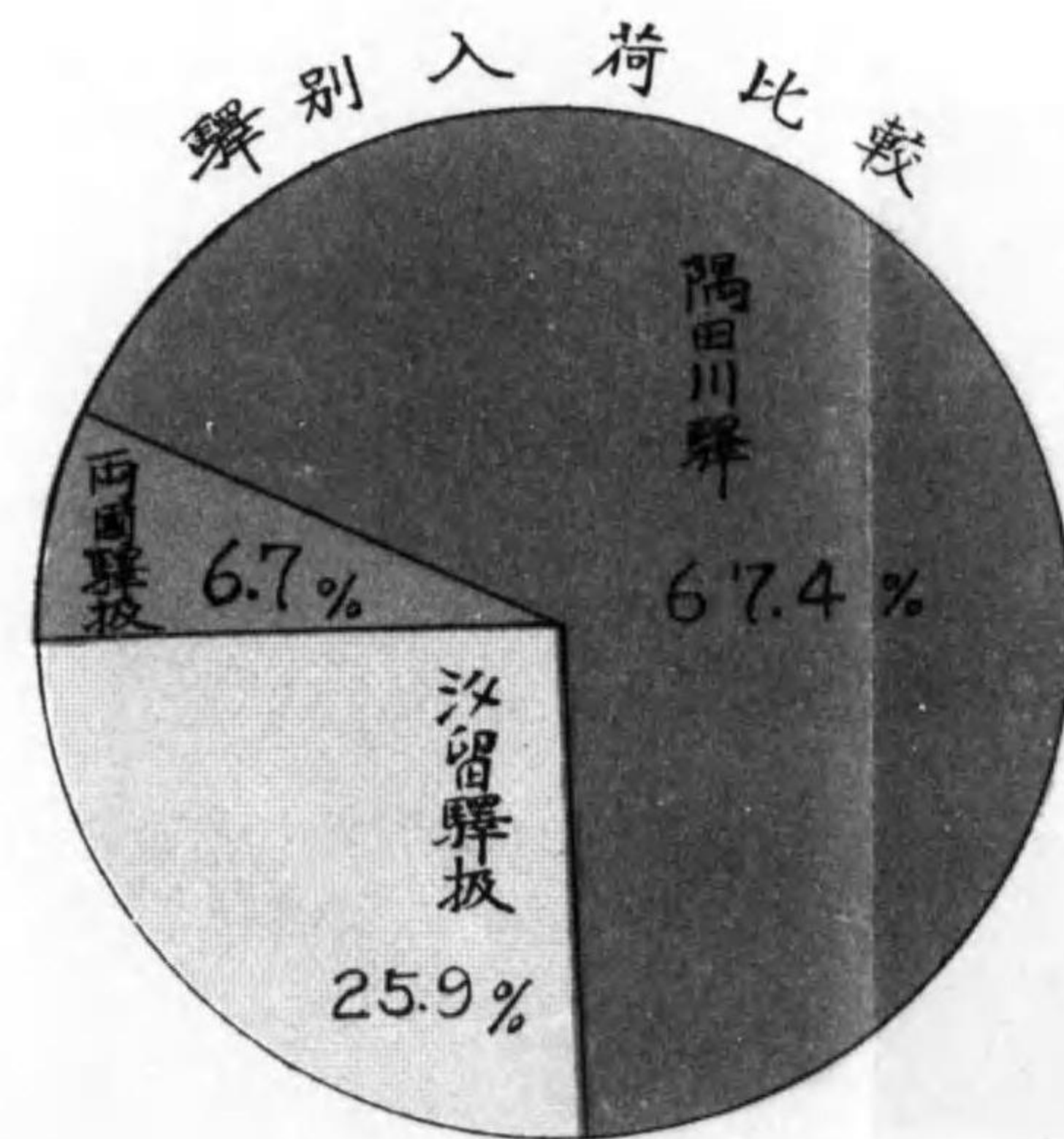
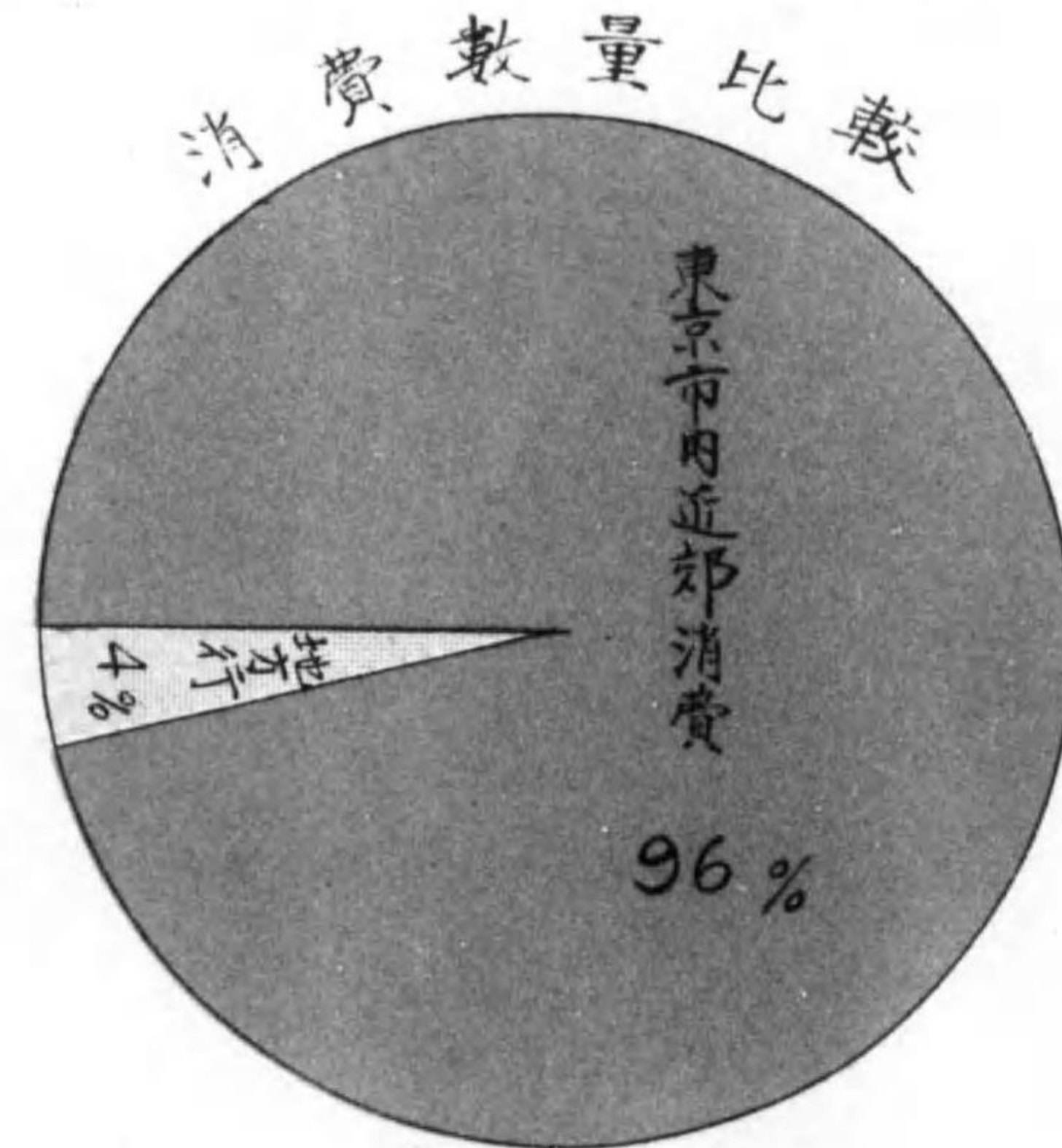
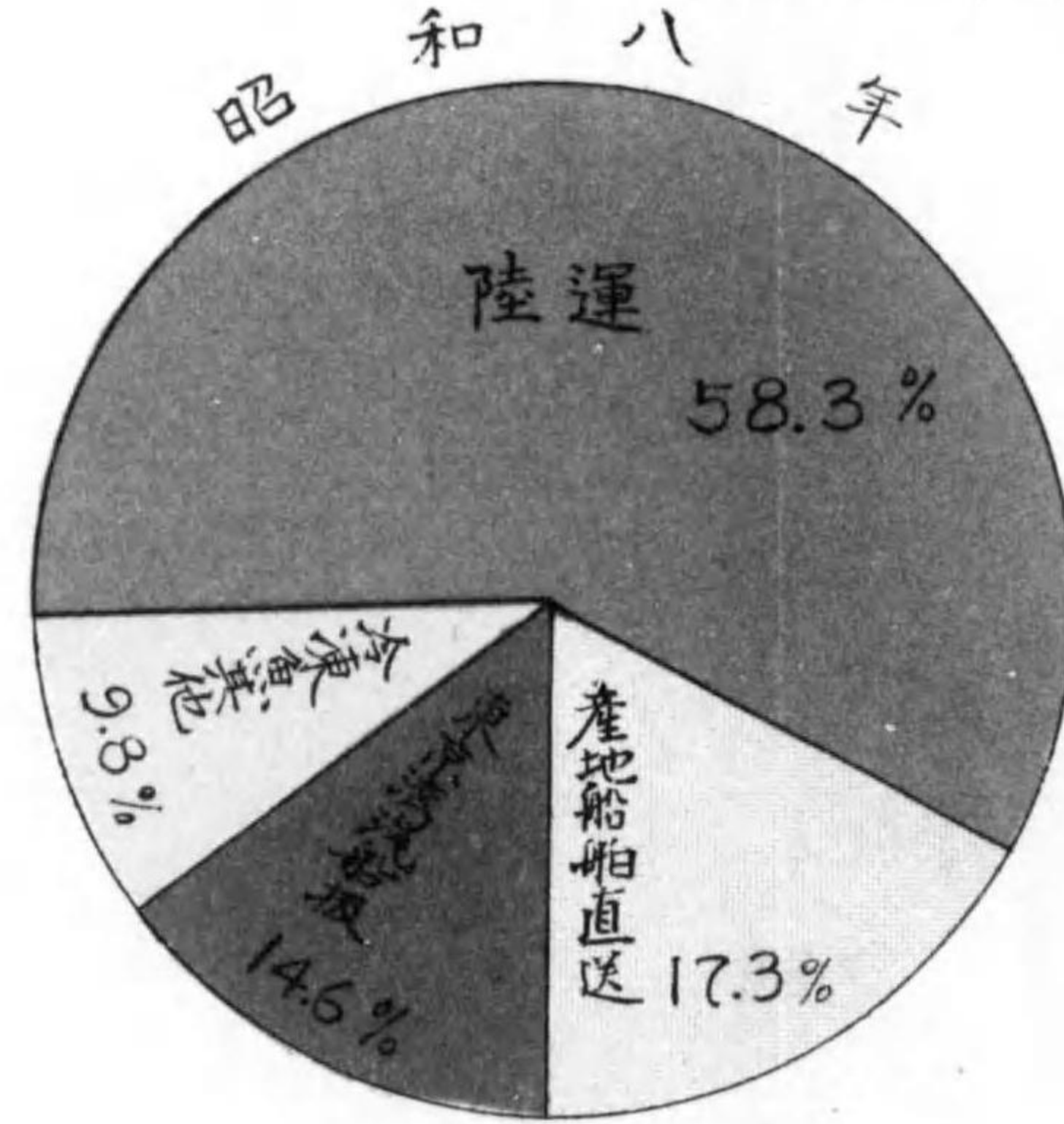
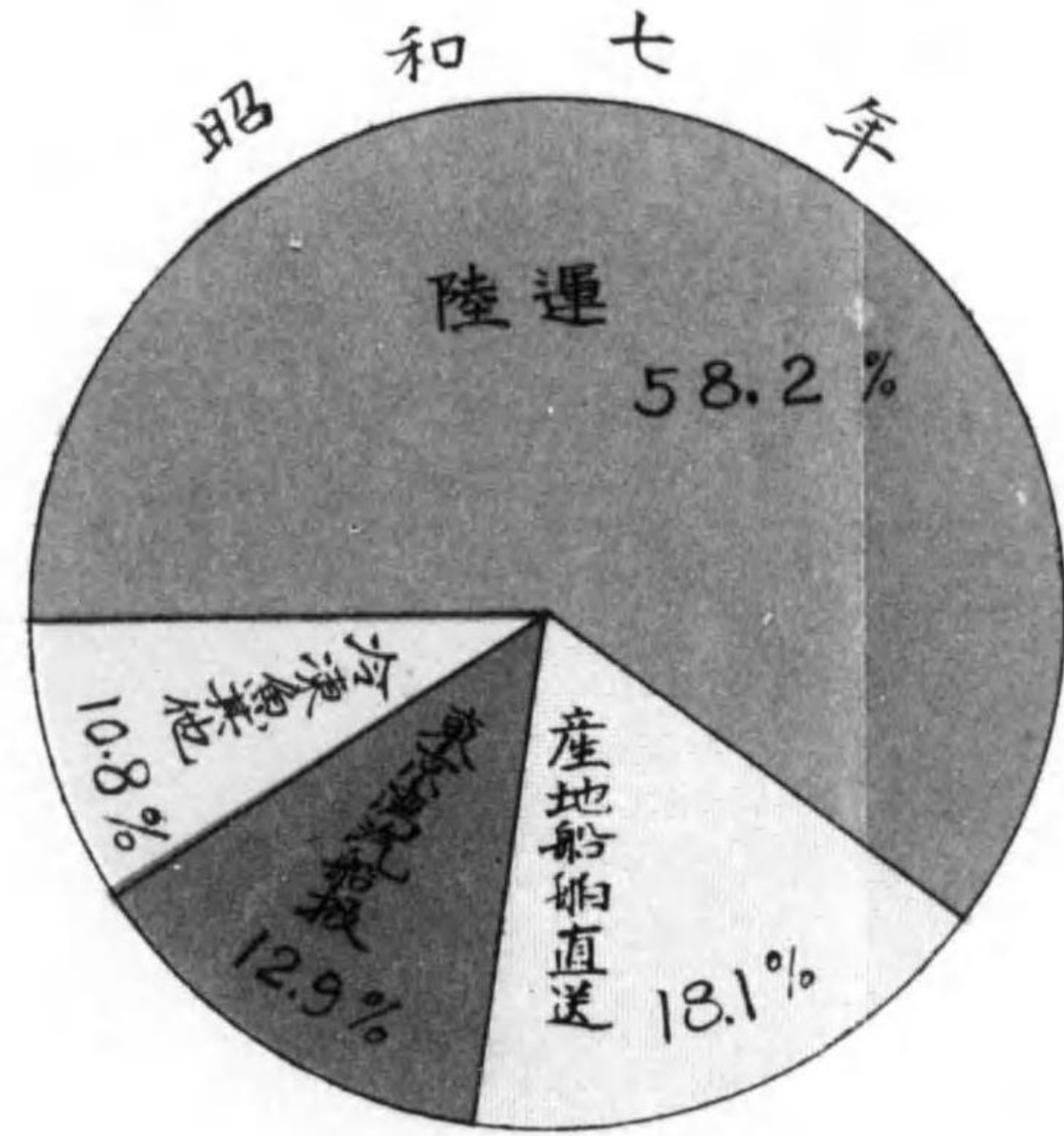
一ヶ年入荷總噸數
 昭和七年 237,518 噸
 昭和八年 267,556 噸

一日平均
 675 噸
 762 噸

内譯
 陸運 466 噸 69%
 海運 209 噸 31%
 陸運 519 噸 68%
 海運 243 噸 32%

市内近郊消費數量
 227,603 噸
 256,926 噸

地方出荷數量
 9,915 噸
 10,630 噸

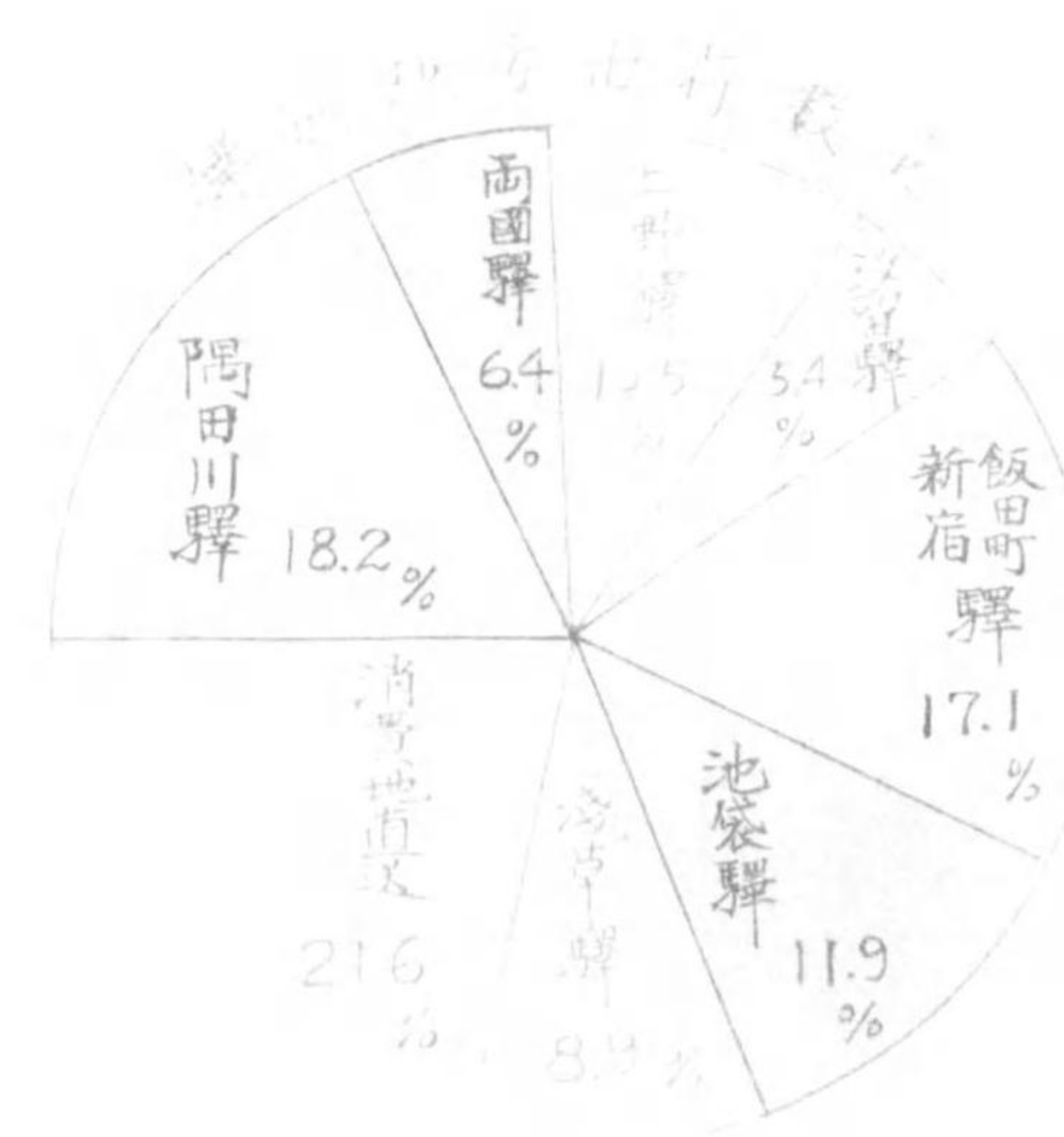
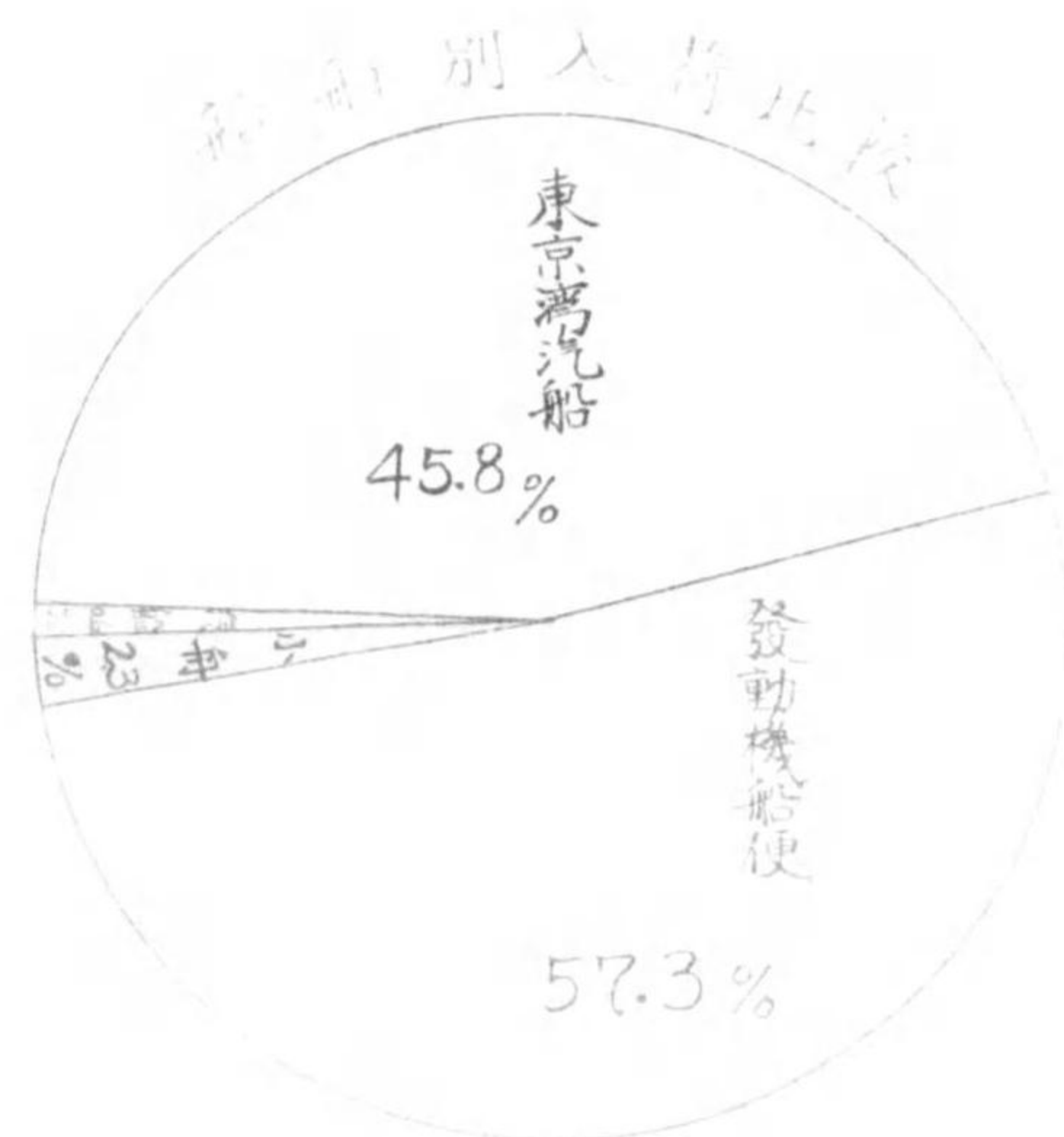
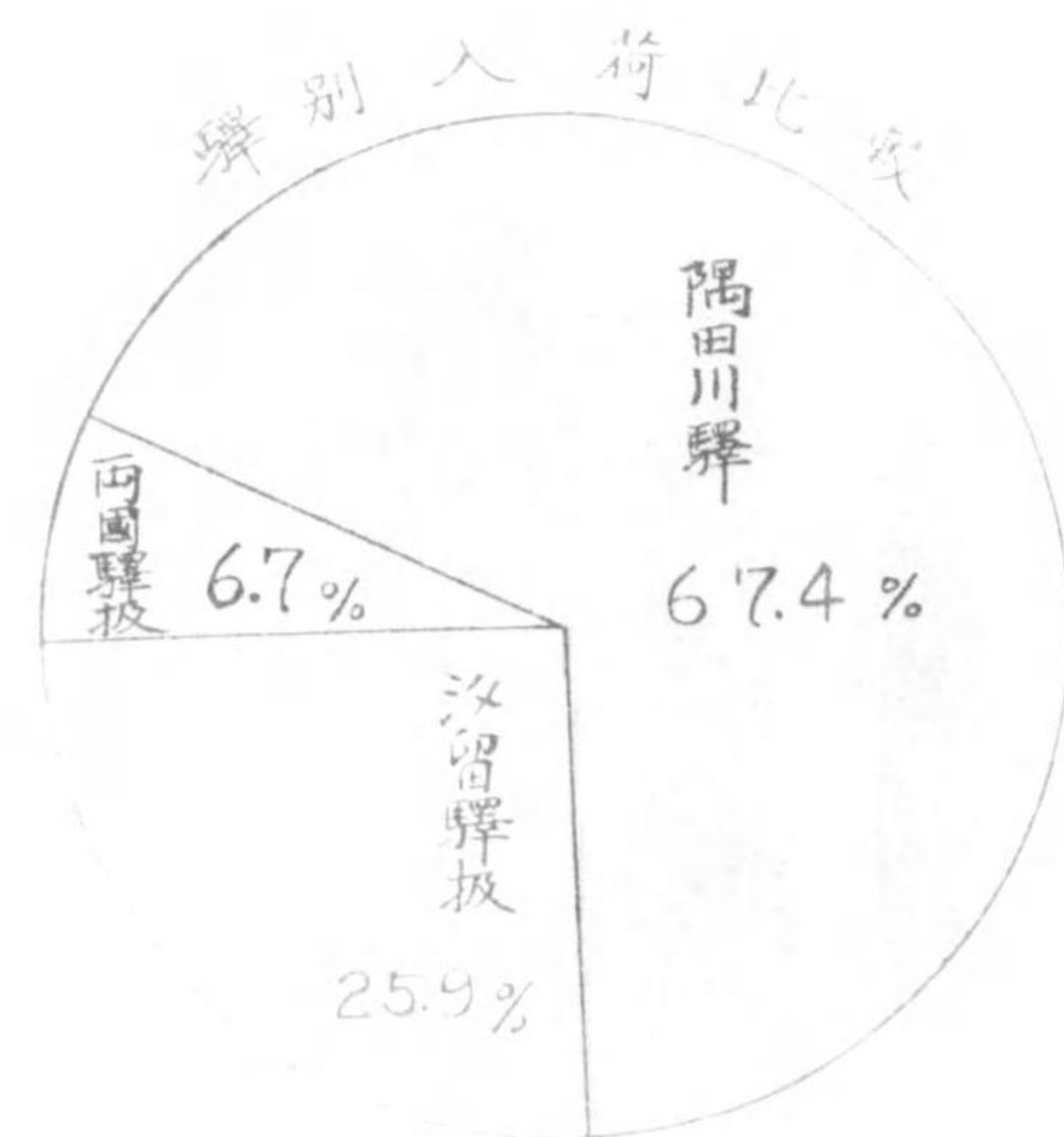
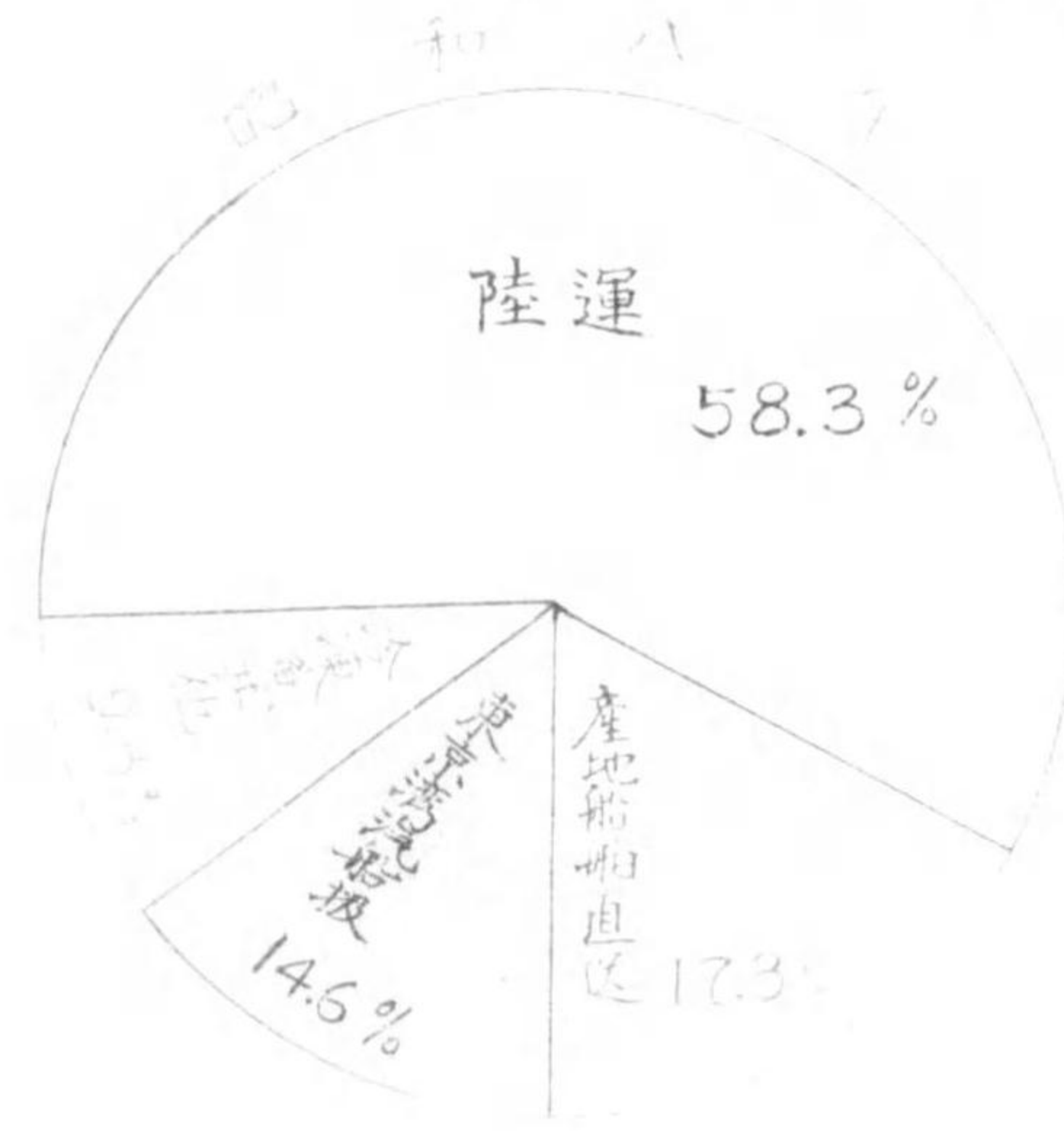
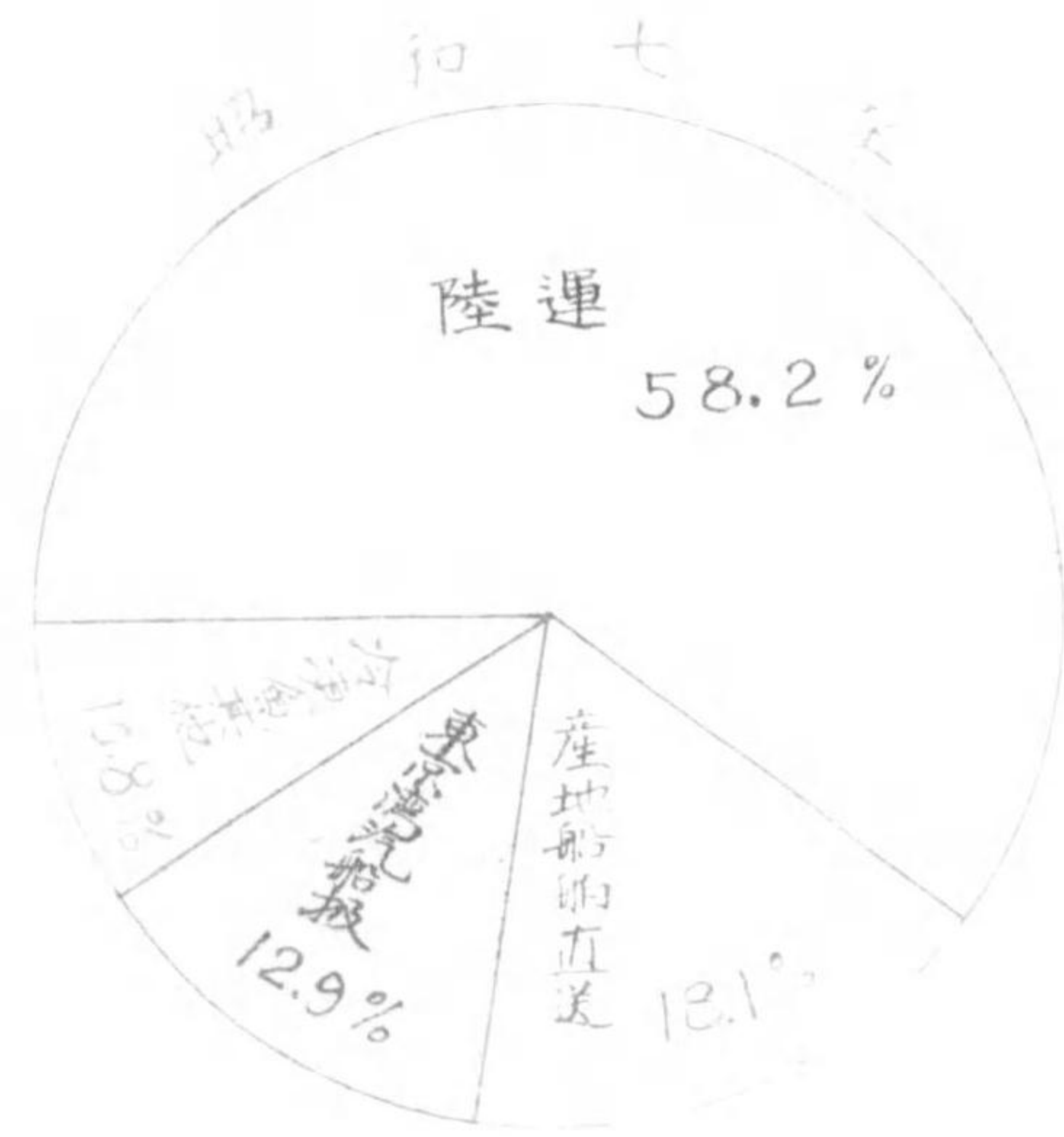


東京市魚市場魚類入荷及地方出荷比較一覽圖

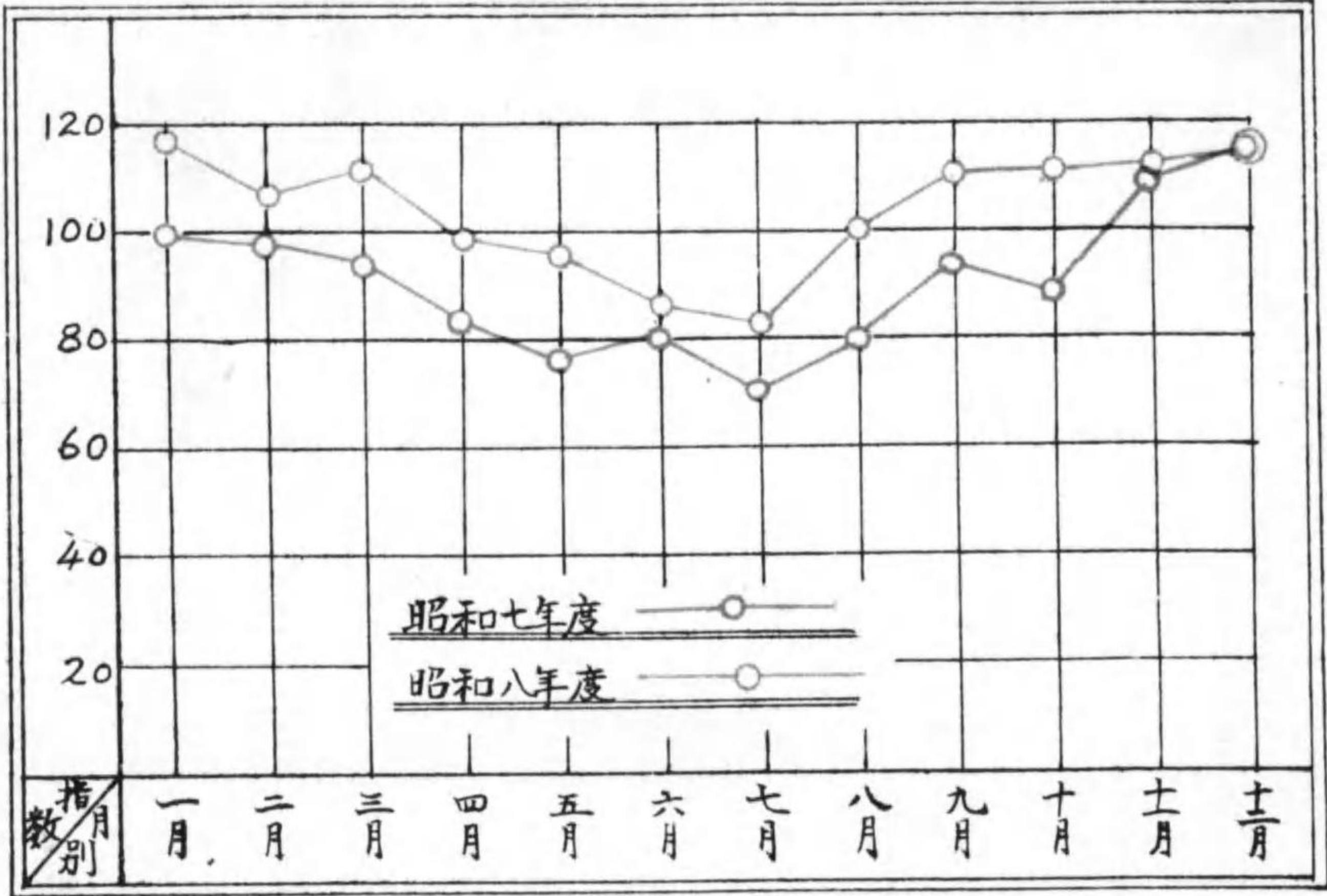
一ヶ月入荷総噸數
 昭和七年 237,513 噸
 昭和八年 267,556 噸

一ヶ月平均 陸運 400 噸 69
 海運 273 噸 51
 陸運 519 噸 58
 海運 243 噸 52

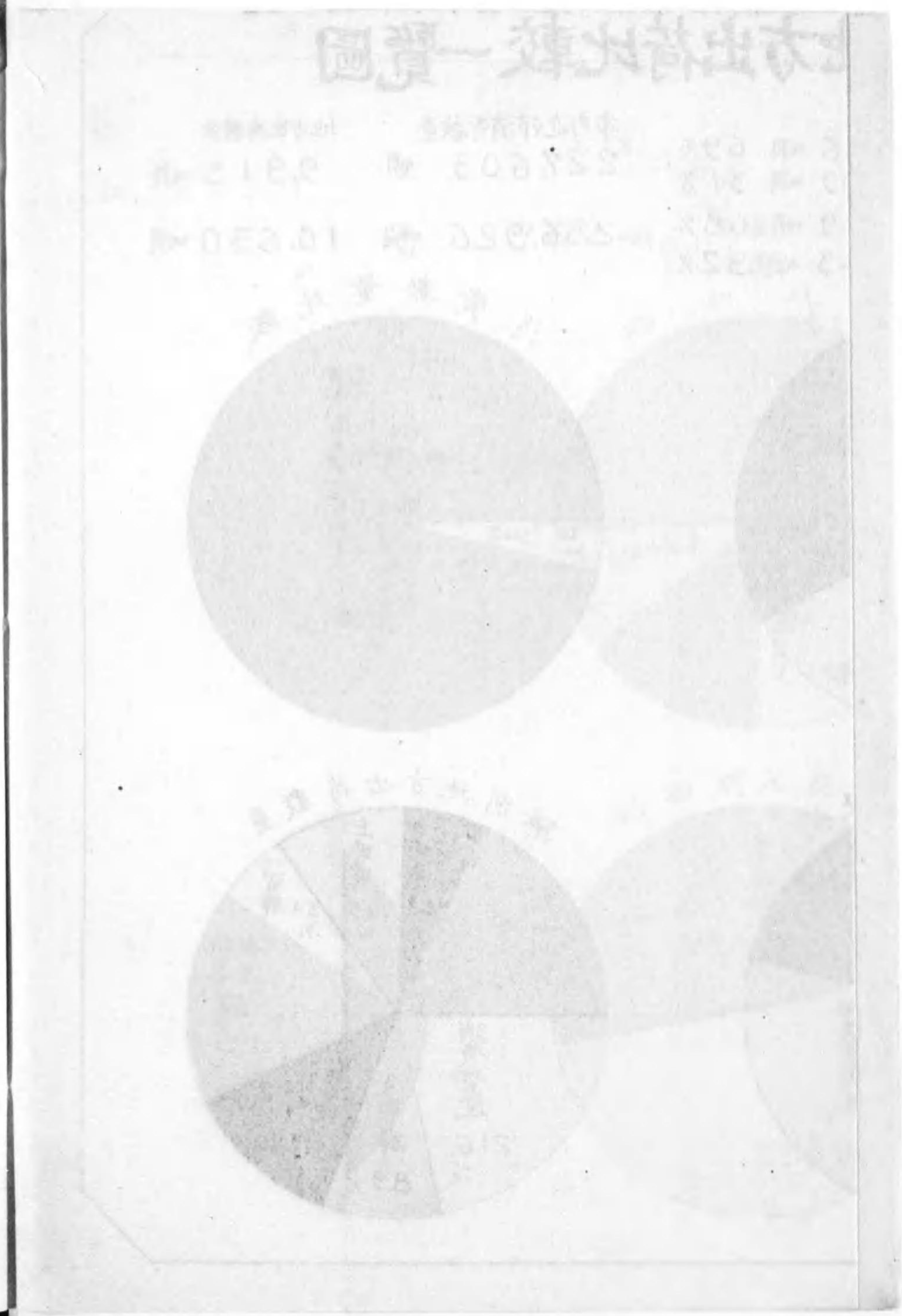
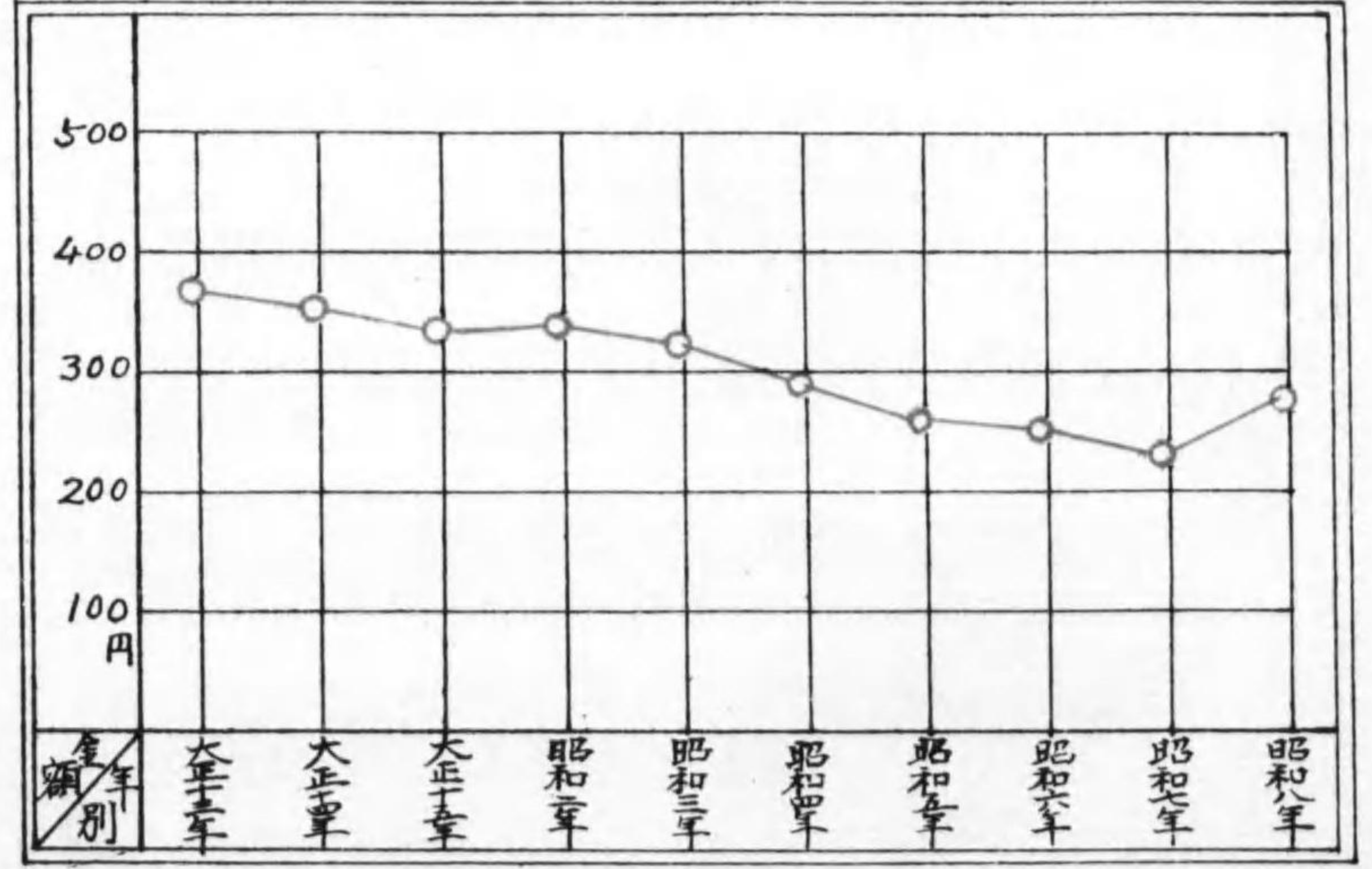
一ヶ月平均 東京市内近郊消費 29 噸 5



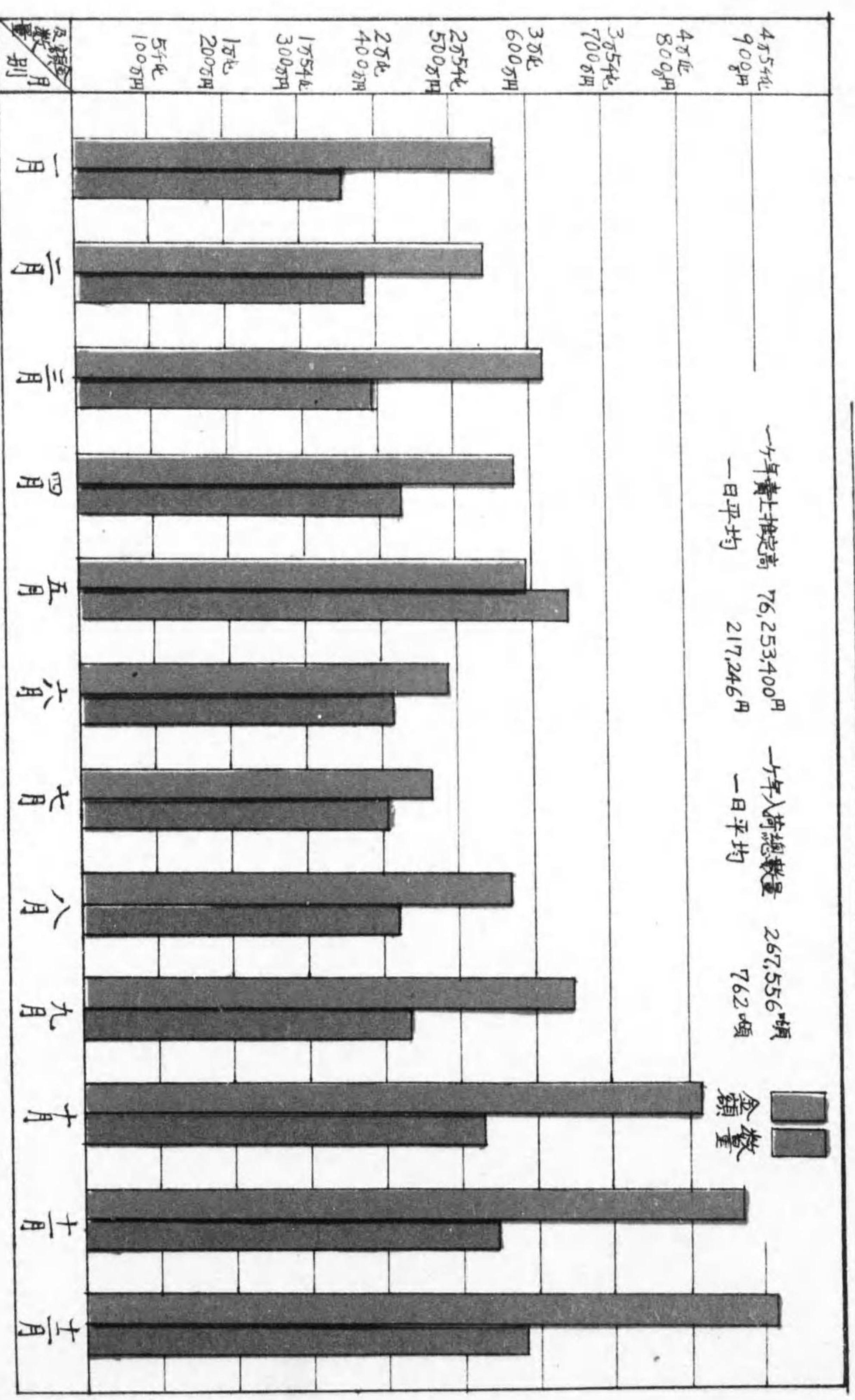
昭和七八年度月別魚價指數變動比較表



累年推定平均魚價變動表(一噸平均)



昭和八年度月別入荷数量及賣上推定高比較表



品目	月別	1	2	3	4	5
	まぐろ	近海産				○
三陸産						
北海産						
工口産						
日向産		○				
土佐産					○	
北陸産						
かちき	近海産					
	三陸産					
	関西産					
	台湾産					
めぢ	近海産				○	
	三陸産					
	北陸産					
	関西産	○				
きはだ	近海産					
	台湾産	○				
めかちき	近海産					
	三陸産					
	北陸産					
めばち						
びんなが					○	
まだひ					○	
北んこたひ						
ひらめ						
きわら					○	
すゞき						
えび						○
むつ					○	
たちうを						